[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 〇

事 業 名	道営砂川袋地	!地区水利施影	设等保全高度化	事業	事業期間	令和え	元年度 ~ ←	分和9年度						
事業性質区分	新規・継続	新規(掲載)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-1	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
	袋地地区の玉ねる 産量の拡大及び品			よる干ばつ対策	として、潅水設備を	を整備すること	により玉ねぎの生	手段 (どのような方法で 実現するのか)	北海道営事業に	より、袋地沼から	の取水施設の整備	情、用水路の整備及	なび散水機の導入	を行う。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	玉ねぎを生産する	る袋地農家						成果 (どのような効果が 得られるのか)	干ばつ被害を防」	止することにより	、玉ねぎの生産拡	大及び品質向上か	「図られ農家の所	得向上に寄与する。
事業開始時の状況 緯								的で灌漑施設の整備 b維持管理を目的に			令和2年に道営事	業として採択され、	、令和3年度から』	事業開始された。施設の整備につい

[DO]

実績

		第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
	第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次(7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
国 費 計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
道費計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
地 方 債 計 画 額	3, 700, 000	22, 200, 000	18, 500, 000	44, 400, 000	18, 700, 000	19, 800, 000	20, 300, 000	58, 800, 000	14, 600, 000				14, 600, 000	117, 800, 000
投 予算計上額	3, 700, 000	7, 400, 000	5, 500, 000	16, 600, 000	18, 700, 000	22, 130, 000		40, 830, 000					0	57, 430, 000
実績額	2, 888, 600	6, 090, 700	5, 200, 000	14, 179, 300	18, 900, 000			18, 900, 000					0	33, 079, 300
入その他計画額	925, 000	5, 550, 000	4, 628, 000	11, 103, 000	4, 675, 000	., ,	5, 087, 000	14, 712, 000	3, 650, 000				3, 650, 000	29, 465, 000
予算計上額	925, 000	1, 850, 000	1, 375, 000	4, 150, 000	4, 675, 000	5, 533, 000		10, 208, 000					0	14, 358, 000
実 績 額	722, 150	1, 522, 675	1, 537, 934	3, 782, 759	4, 740, 983			4, 740, 983					0	8, 523, 742
れ 一般財源 計画額			10, 000	10, 000				0					0	10, 000
予算計上額				0				0					0	0
実績額			82, 741	82, 741	63, 934			63, 934					0	146, 675
事業費合計 計 画 額	4, 625, 000	27, 750, 000	23, 138, 000	55, 513, 000	23, 375, 000	24, 750, 000	25, 387, 000	73, 512, 000	18, 250, 000	0	0	0	18, 250, 000	147, 275, 000
予算計上額	4, 625, 000	9, 250, 000	6, 875, 000	20, 750, 000	23, 375, 000	27, 663, 000	0	51, 038, 000	0	0	0	0	0	71, 788, 000
業 実績額	3, 610, 750	7, 613, 375	6, 820, 675	18, 044, 800	23, 704, 917	0	0	23, 704, 917	0	0	0	0	0	41, 749, 717
費	負担金 4,625千円	負担金 9,250千円	負担金 6,875千円		負担金 23,375千円	負担金 27,663千円								
事業費予算の														
の内容														
推														
	事業費の増	事業費の増	事業費の減		事業費の増	事業費の増								
移り前年度予算と	ナベ具い石	ナベ貝の相	于 不具 V/M		ナベ貝が相	ナベ貝の相								
の比較														
(増減理由)														
	事業費の減	事業費の減	事業費の減		事業費の増	1								
実績との比較														
(増減理由)														
					I.									

活動	指標 1	I (「手段」:	をもとに設定)	指標名:事業進	埗 率		指標の求め方:	执行済事業費/総事	事業費×100								
			をもとに設定)	指標名:用水路				整備済延長/計画3									
					第1次実施	13カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			Ą.	第3次実施4カ年	計画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	# A A A A A A A A A A A A A A A A A A A
		活動指標	1 計画値	5	32		5	14	2	18		3	(10+1 X)	(11+12)	(12+12)		
	指	(単位/%	八根區	4	13			37									
	標	成果指標 (単位/%		5	37			17	79	97		100				-	
		事業の達	八根征	O			あまり達成されていない	,									
		事業の成					あまり上がってい ない										
		事業の効果	率性				あまり上がってい										
		総合評価	に対する成果)				ない 普通である										
事務事業評価	評価内容	*王G	総合評価の判断 理由または指標 理由実績値に関す る自己分析	を開始し、袋地揚水組合を立ち上げ、工事前の委託業務を空知総合振興局で	渉に向けて概略 設計を行った。	設計及び用地買 収、用地確定測 量を行った。設 計段階のため、 用水路整備済み	判断理由: 道営事業であ り、当初予定通 り進んでいるた	自計のでは、 日計のでは、 日計のでは、 日記画が部設を、 のでは、 のでは、	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方	向性				現状のまま継続										
	方向 [†] 改善 (R5.	性の判断理 、改革の内 、R8、R10)	建由 1容	R5: 令和3年度に採択 いるため。	2済みの事業であり	, J、現在工事に向	けて準備が進んで	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 O

事 業 名	水利施設管理	強化事業			事業期間		平成12年度	~						·
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外		第7期総合計画の位置付け	4-1-1	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	地区内の適確な用を図るとともに、	月排水管理を行う 国営造成施設(ため、北海道と市: 北海かんがい溝)。	が連携し土地改り の管理の適正化I	- 良区等が実施する管 こ資する。	歪理体制の整備	計と農家負担の軽 減	手段 (どのような方法で 実現するのか)	地域の実情に応 推進協議会を通	じた管理水準、適 じた合意形成や関	正な管理体制や費 係団体との協議・	き用分担等の目標及 ・調整のほか、農家	なびその実現に向 なや地域住民への	けた具体的な整備計画の策定と、 啓蒙普及活動を行う。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内の農業者、地	也域住民						成果 (どのような効果が 得られるのか)	農業水利施設の	適正な管理と水資	源のかん養や洪水	K防止などの多面的	内な機能が発揮さ	れる。
事業開始時の状況緯		地改良区の管理の国営造成施設の	体制が脆弱化しつつ 管理適正を図るため	つある。 り、国の実施要維	₹区が管理している 岡・要領に基づき平 E長となった。さら	成12年度から	16年度までの5ヵ	実施したが、さら	なる事業効果を				.,,	社会経済情勢の変化により、北海土る。

[DO]

実績

					第 1 次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額	1, 879, 000	1, 879, 000	1, 879, 000	5, 637, 000	1, 879, 000	1, 879, 000	1, 879, 000	5, 637, 000	1, 879, 000	1, 879, 000	1, 879, 000	1, 879, 000	7, 516, 000	18, 790, 000
			予算計上額	1, 879, 000	1, 879, 000	1, 879, 000	5, 637, 000	1, 873, 500	2, 188, 500		4, 062, 000					0	9, 699, 000
			実績額	1, 879, 500	1, 879, 500	1, 873, 500	5, 632, 500	1, 873, 500			1, 873, 500					0	7, 506, 000
	地	方 債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額				0				0					0	0
さ			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
れ	一 般	段 財 源	計画額	627, 000	627, 000	627, 000	1, 881, 000	627, 000	021,000	627, 000	.,,	627, 000	627, 000	627, 000	627, 000	2, 508, 000	6, 270, 000
+.			予算計上額	627, 000	627, 000		1, 881, 000	624, 500	729, 500		1, 354, 000					0	3, 235, 000
た			実績額	626, 500	626, 500	624, 500	1, 877, 500	624, 500			624, 500					0	2, 502, 000
事	事 業	費合計	計画額	2, 506, 000	2, 506, 000	2, 506, 000	7, 518, 000	2, 506, 000	2, 506, 000	2, 506, 000	7, 518, 000	2, 506, 000	2, 506, 000	2, 506, 000	2, 506, 000	10, 024, 000	25, 060, 000
			予算計上額	2, 506, 000	2, 506, 000	2, 506, 000	7, 518, 000	2, 498, 000	2, 918, 000	0	5, 416, 000	0	0	0	0	0	12, 934, 000
業			実績額	2, 506, 000	2, 506, 000	2, 498, 000	7, 510, 000	2, 498, 000	0	0	2, 498, 000	0	0	0	0	0	10, 008, 000
費の推		費予算の 内容		補助金 2,498千円 負担金 8千円	補助金 2,498千円 負担金 8千円	補助金 2,498千円 負担金 8千円		補助金 2,498千円	補助金 2,918千円								
移	の	度予算と)比較 咸理由)		前年度同額	前年度同額	前年度同額			物価上昇による 補助金の増及び 負担金の増								
		との比較 咸理由)		予算同額	予算同額	事業費の減		予算同額									

指	標の打	1移・評価	洒															
			段」をもとに		指標名:推進協					画検討に係る推進	協議会等開催数							
成	果指標	[1 (「成	果」をもとに	設定)	指標名:整備計員	画に対する実行率		指標の求め方:乳	実行/整備計画									
					tete . In . In		3 力年計画	1	the a tende		3 力年計画	I			3次実施4力年計			第7期
					第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次(7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次(9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 力年 合 計	総合計画合計
		活動拍		計画値	3	3	3		3	3	3		3	3	3	3	3	
	打模		立/回)	実績値	3		3		3	3	100		100	100	100	100		
	17	八木1	旨標 1 立/%)	計画値実績値	100 100				100 100		100		100	100	100	100	1	
			の達成度 指標をもる	とに評価)				ほぼ達成されている										
		事業の	の成果 指標をもる	とに評価)				変わらない										
			の効率性 費に対する	5成果)				変わらない										
		総合計		J 1903(C)				良好である										
	Aut.	6	理由ま	価の判断標 に関す	減こ正る集る変を表する集るでは、よきの発事をしていた。と管こ中災農面が、と管に中災農面が、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	滅がと管理と豪害業・機のという。 は、と管理と豪害業・機のでは、よきの発生のでは、は、またのでは、は、またのでは、は、またのでは、は、またのでは、は、またののでは、は、またののでは、は、またののでは、は、またののでは、は、またののでは、は、は、ないのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	減なと管と、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きないでは、まないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	判土り(路て動係ぼる計りる好と、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	滅こ正る集るむ多性ないのでは、大きの発生のでは、大きの発生のでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きの発生が、大きの発生が、大きの発生が、大きの発生が、大きの発生が、大きの発生が、大きの発生が、大きの発生が、大きの発生が、大きの発生が、大きの発生が、大きの発生が、大きの発生が、大きの発生が、大きのでは、ためいは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、ためいは、ためいは、ためいは、ためいは、ためいは、ためいはないが、ためいは、ためいは、ためいは、ためいは、ためいは、ためいは、ためいは、ためいは		自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後0	 D方向性					現状のまま継続										
					R5: 典業水利佐部 (-	ル海砂組田小野へ	け业姿酒のか!羊	シンチャルト・ド	R8 :			T	R10 :					Ш
	改	向性の判] 善、改革 ₹5、R8、I	の内容		の多面的な機能: 効果が認められて 今後は、集落機能	北海幹線用水路) を有し、適かいない。 を有いることと農業 能の地域住民へ更な が地域は民へ更な	理が必要である。 、継続する事業と 事者の高齢化が進	当該事業により :考える。 धむと考えられる										

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	農業農村整備	事業			事業期間	平成	25年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設	第7期総合計画 の位置付け	4-1-1	他に関連する 基本事業		-				所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	水田や畑の区画扱的な生産を図ると	広大、暗渠整備や こともに、農作業	、農道の整備、農 の効率化を図る。	業用水を確保す	ー るための用排水路を	を整備すること	で、農産物の安定	手段 (どのような方法で 実現するのか)	地域の実情に応し 調整のほか、農家	じた適正な管理体 家や地域住民への	制や費用分担及び 啓蒙普及活動を行	バその実現に向け <i>†</i> テう。	≿具体的な整備計i	画を策定し、関係団体との協議・
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内の農業者、生	生産者団体、農業	生産法人など					成果 (どのような効果が 得られるのか)	食料自給率の向」	上と農産物の安定	的な生産及び農作	f業の効率化が図 <i>ら</i>	られる。	
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	富平地区において	て、地域の農業者、	空知総合振興局	引、北海土地改良区	、新すながわり	農協、砂川市が連携	まを図り道営事業 <i>の</i>	計画策定を検討中	中である。				

[DO]

実績

		第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年計	一画		第 7 期
	第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
国 費計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
道費計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
地 方 債 計 画 額				0				0					0	0
投予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
入その他計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
美額 額				0				0					0	0
れ 一般財源 計画額				0				0					0	0
予算計上額 宝 縛 類				0				0					0	0
大 帜 帜				0				0					0	0
事 事業費合計 計 画 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予算計上額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業 実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費														
事業費予算の														
の内容														
推														
移业在内景等。														
前年度予算との比較														
(増減理由)														
実績との比較 (増減理由)														
(培/改生日)														

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名: —	指標の求め方:※直近の実績と今後の見通しが立たないため活動・成果指標なし。
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名: —	指標の求め方:※直近の実績と今後の見通しが立たないため活動・成果指標なし。

12.A.						第 1 次軍施	3カ年計画			第 2 次 実 旅	3 力年計画			笙	3次実施4カ年割	計画		/r/r = ++0
				-	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合計	合 計
		活動指標		画値														
	指	(単位/) 実績	績値														
	標	成果指標		画値														
		(単位/) 実績	績値														
		事業の達 (活動指標	成度 票をもとに評	平価)														
		事業の成:	果 票をもとに評	亚価)														
		事業の効果	率性															
		総合評価	に対する成果	₹)				普通である										
					自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
				3	整備計画の策定	整備計画の策定	西豊沼地区の基	現在、西豊沼地	西豊沼地区の基									
				1	について継続快 討している段階	計している段階	盤整備事業の実 施に向けて、地	との基盤登備争 業実施に向け	盛登偏事業の美 施に向けて、地									
				-	であり、事業未!	であり、事業未	元及7/北海道や	て、地元及び関	元及び北海道や									
				1	実施のため総合 評価はできな	実施のため総合 評価けできた	北海土地改良区 などの関係機関	係機関と協議を 進めている	北海土地改良区 などの関係機関									
					い。	い。	と協議を行って	20000	と協議を行って									
事							いる。		いる。									
	評価																	
務	内																	
	容	\$	総合評価の	半川味														
事		Ŧ	囲中またけ:	指煙														
*		0	の実績値に	関す														
		4	る自己分析															
業																		
評																		
価																		
		今後の方	向性					現状のまま継続										
	今後の万回性				R5 :				R8 :				R10 :					
					事業実施に向けた	と具体的な整備計	画の策定について	継続検討してお										
							より農地集積が促 の低減が図られる											
					とから継続事業と	考える。	,_,,,,,,, ,,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	_ , & C , 0 0 C										
	方向性の判断理由																	
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)																	
	(R5.	R8、R10))															
													<u> </u>					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 〇

事 業 名	小規模基盤整	養備事業			事業期間	令和 4	1年度 ~	令和12年度	Ī				•		
事業性質区分	新規・継続	新規(予算)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-1	他に関連す 基本事業	る 4-1	-3					所管課係	農政課農政係
					・ することにより、技 作物の品質向上を図				な方法で か)	区画拡大、暗渠技 工事費の20%以内			経費の一部を補助 、暗渠排水は40,00		とする。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	農地集積による約	圣営規模の拡大及	び基盤整備等を実	施する担い手農業	業者			成果 (どのよう 得られるの	な効果が	担い手への農地の	の集積を促進する	とともに、農作業	きの効率化及び農作	∈物の品質向上が[図られ、農業所得の向上に資す
事業開始時の状況 緯	・これまでの経														

[DO]

実績

				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	第 7 期 総合計画 合 計
	国 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	地 方 債					0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
_		実績額				0				0					0	0
入	その他	計画額				0				0					0	0
ŧ		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
れ	一般財源			1, 800, 000	1, 800, 000	3, 600, 000		1, 100, 000	1, 100, 000	2, 200, 000	1, 100, 000	1, 100, 000	1, 100, 000	1, 100, 000	4, 400, 000	10, 200, 000
<i>t</i> =		予算計上額		0	0	0	0	0		0					0	0
12		実績額		0	0	0	0			0					0	0
事	事業費合計		0	1, 800, 000	1, 800, 000	3, 600, 000	0	1, 100, 000	1, 100, 000	2, 200, 000	1, 100, 000	1, 100, 000	1, 100, 000	1, 100, 000	4, 400, 000	10, 200, 000
		予算計上額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業		実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費																
	事業費予算の															
の	内容															
推																
移	***		_													
	前年度予算と の比較															
	(増減理由)															
	実績との比較 (増減理由)															
	(垣凞理田)															

1	旨標の	推移	・評価															
3	舌動指	標 1	(「手段」をも	とに設定)	指標名:基盤整個	備面積(ha)		指標の求め方:令	3和3年度以降基	盤整備面積累計	(ha)							
J	 成果指	標 1	(「成果」をも	とに設定)	指標名:担い手に	こよる農地集積率		指標の求め方:担	目い手の農地面積	/市内の農地面積	(農地利用集積状	:況用調査より)						
I						第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年計	十画		第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		指	活動指標 1 (単位/ha)	計画値実績値		4	8		10	12	14		16	18	20	22		
ı		1200	成果指標 1	計画値		79	l		81		83		84	85	86	87		
	H		(単位/%)	実績値		74	74		75									
			事業の達成度 (活動指標を					達成されていない										
			事業の成果 (成果指標を=	もとに評価)				変わらない										
			事業の効率性 (事業費に対す					変わらない										
			総合評価					普通である										
	務	評価内容	理由の実	評価の判断標 または関す 値に関す 己分析		なかったため実 績はないが、今 後農家1戸当た りの経営面積は	なかないが、 を を を を を を を を を を を を を	が、担い手への 農地の集積は進 んでおり、概ね 目標は達成され ている。	なかったため実 績はないが、今 後農家1戸当た りの経営面積は	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		ŀ	——— 今後の方向性					現状のまま継続										
	-	_			R5 :				R8 :			I	R10 :					
	5	大善、	の判断理由 改革の内容		該事業が実施され	事業の対象となら れることにより農 生産コストの低減 る。	地集積が促進され	るとともに、農										
		(R5,	R8、R10)															

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	西豊沼地区基	盤整備事業			事業期間	令和	7年度 ~	令和15年度							
事業性質区分	新規・継続	新規(予算)	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	4-1-1	他に関連す 基本事業	a 4−1−3	_	_				所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	砂川市内の水田は 水及び排水機能を	、区画が狭小で 整備することで、	あり農作業の効率だ 、農作業の効率化2	が悪く、西豊沼均 なび農業生産性の	- 也区においても同じ D向上を図ることを	じ状況であり、 ∈目的とする。	区画拡大、農業	手段 (どのような方法 実現するのか)	西豊沼地市におい	地区の農	業者より農地 実施に向けてb	s盤整備の要望を受 s議を重ね道営事業	とけ、北海土地改良 きにより換地を含め	区、新砂川農業協 た基盤整備及び農	同組合、空知総合振興局および当 業用水整備を実現する。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	西豊沼地区の農業	者、生産者団体	、農業生産法人なる	<u></u>				成果 (どのような効! 得られるのか)	西豊沼地市におい	地区の農	業者より農地 実施に向けては	k盤整備の要望を受 B議を重ね道営事業	みけ、北海土地改良 きにより換地を含め	区、新砂川農業協 た基盤整備及び農	同組合、空知総合振興局および当 業用水整備を実現する。
事業開始時の状況 緯	・これまでの経														

[DO]

実績

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国 費	計画額				0				0		132, 000, 000	573, 450, 000	649, 950, 000	1, 355, 400, 000	1, 355, 400, 000
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	道 費	計画額				0		2, 500, 000		2, 500, 000	1, 000, 000	90, 420, 000	376, 255, 000	425, 715, 000	893, 390, 000	895, 890, 000
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地 方 債					0				0		8, 500, 000	46, 000, 000	52, 000, 000	106, 500, 000	106, 500, 000
投		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
入	その他	計画額				0				0					0	0
さ		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
れ	一般財源					0		2, 500, 000		2, 500, 000	1, 000, 000	80, 000	1, 095, 000	635, 000	2, 810, 000	5, 310, 000
た		予算計上額		0	0	0	0			0					0	0
15		実 績 額		0	0	0				0					0	0
事	事業費合計		0	0	0	0	0	5, 000, 000	0	5, 000, 000	2, 000, 000	231, 000, 000	996, 800, 000	1, 128, 300, 000	2, 358, 100, 000	2, 363, 100, 000
		予算計上額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業		実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費の推	事業費予算の 内容							当初計画より事業が遅延したこと等により予算計上なし								
移	前年度予算と の比較 (増減理由)															
	実績との比較 (増減理由)															

汪	動指標	1 (「手段	」をもとに設定)	指標名:委託実施	施率		指標の求め方:写	『施面積/全体計画	画面積								
成	果指標	1 (「成果	」をもとに設定)	指標名:実施率			指標の求め方:写	尾施事業費/全体	計画事業費								
					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年記	十画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年 合 計	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年 合 計	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	1	活動指	標 1 計画値	(3年度)	(4年度)	(5年度)		(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)		п п
	指標																
	桿	/火木 1日															
	-	(単位/	八根框														
		事業の (活動指	^{達成度} 指標をもとに評価)														
		事業の															
		事業の	指標をもとに評価) 効率性														
			に対する成果)														
		総合評	<u> </u>										. = 0.12				
				自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
3	事																
•	部																
3																	
	容		総合評価の判断														
4	事		理由または指標の実績値に関す														
			る自己分析														
3	業																
į	评																
1	西																
		今後の	 方向性														
		/ IX V)	. J . J L	R5 :				R8 :			I	R10 :				l .	
	方	向性の判断 き、改革の	理由														
	·····································	s、改革の 5、R8、R1	N谷 0)														

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	認定農家支援	資金利子補給	- 事業		事業期間	平成1	3年度 ~ 令	和16年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-2	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	担い手の育成・研	権保と農業経営の	安定化を図るため	に実施。				手段 (どのような方法で 実現するのか)	利子補給を希望 [・] 成を行う。	する認定農業者か	ら農業経営改善計	画に基づいた申詞	情を受け、国・北	海道・砂川市がそれぞれ利子の助
対象 (誰・何を対象として いるのか)	農業経営改善計画	画認定を受けた市	内の農業者					成果 (どのような効果が 得られるのか)	担い手の育成・	確保と利用集積の	促進のほか、耕作	₣放棄地の解消が図	図られることから)	農業経営の安定化に結びつく。
事業開始時の状況緯	・これまでの経	農業経営基盤強 平成24年度借入2	化促進法に基づき、 分からは、「人・鼎	認定農業者が 農地プラン」に位	農業経営改善計画の 対置付けられた認定	達成に必要な: 農業者に5年	スーパーL資金) 「行われ、市町村の	に対して、利子 の金利負担が無く	を助成することに なった。	より、担い手の育	『成・確保を資金』	面で支援している。		

[DO]

実績

			第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年計	·画		第 7 期
		第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
		(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
国 費	計画額				0				0					0	0
	予算計上額				0				0					0	0
	実績額				0				0					0	0
道費	計画額	152, 000	123, 000		373, 000	85, 000	7.1,000	59, 000		47, 000	35, 000	27, 000	20, 000	129, 000	717, 000
	予算計上額	152, 000	123, 000	97, 000	372, 000	85, 000	71, 000		156, 000					0	528, 000
	実績額	151, 633	122, 930	94, 901	369, 464	80, 294			80, 294					0	449, 758
地方債	計画額				0				0					0	0
投	予算計上額				0				0					0	0
	実績額				0				0					0	0
入 その他	計画額				0				0					0	0
à	予算計上額				0				0					0	0
	実 績 額				0				0					0	0
れ − 般 財 源	計画額	153, 000	124, 000		375, 000	85, 000	72,000	59, 000	216, 000	48, 000	35, 000	28, 000	21, 000	132, 000	723, 000
t:	予算計上額	153, 000	124, 000	98, 000	375, 000	85, 000	73, 000		158, 000					0	533, 000
	実 績 額	151, 643	122, 942		369, 494	80, 299			80, 299					0	449, 793
事業費合計	計画額	305, 000	247, 000	196, 000	748, 000	170, 000	143, 000	118, 000	431, 000	95, 000	70, 000	55, 000	41, 000	261, 000	1, 440, 000
	予算計上額	305, 000	247, 000	195, 000	747, 000	170, 000	144, 000	0	314, 000	0	0	0	0	0	1, 061, 000
業	実 績 額	303, 276	245, 872	189, 810	738, 958	160, 593	0	0	160, 593	0	0	0	0	0	899, 551
費		交付金 305千 円	交付金 247千 四	交付金 195千 円		交付金 170千	交付金 144千								
事業費予算の			1」 21件	17件		1 3	1.1								
の内容															
推															
100		借入残高の減	借入残高の減	借入残高の減		借入残高の減	借入残高の減								
移前年度予算と		旧 ハス 同 07 //ス	1日 7 (7 次 1日 0 7 // 次	旧八次同07//3		旧八次同07/19	16 7 (7% 16) V7 11%								
削年及で昇と の比較															
(増減理由)															
		同額	同額	繰り上げ償還に		繰り上げ償還に									
実績との比較				より借入残高が 減ったため		より借入残高が 減ったため									
(増減理由)				//ダ・フ /こ /こ (く)		//95、フ /こ /こ (く)									
						<u>II</u>			l	l					

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名: —	指標の求め方:※過去に借入した実績で活動・成果指標に結びつかないため指標をなしとする。
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名: —	指標の求め方:※過去に借入した実績で活動・成果指標に結びつかないため指標をなしとする。

						第 1 次 実 施	3カ年計画			第 2 次 実 描	3 力年計画			笙	3次実施4カ年	計画		//r = ++0
				ŀ	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合計	合 計
		活動指標		画値														
	指	(単位/) 実終	績値														
	標	成果指標	1 計画	画値														
		(単位/) 実終	績値														
		事業の達用		E /TE \														
			票をもとに評	F1四)														
		事業の成身 (成果指標	未 景をもとに評	[編]														
		事業の効率																
			対する成果	ŧ)														
		総合評価						良好である										
					自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
				Ä.	農業経営改善計	農業経営改善計	農業経営改善計	平成24年度借入 分から人・農地	農業経営改善計画の達成に必要									
				7	な資金の借入に	な資金の借入に	な資金の借入に	【プランに位置付	な資金の借入に									
				1	対1.金利を助成	対し金利を助成	対し金利を助成	けられた認定農	対し金利を助成									
				3	りることにより、農業経営の	することによ り、農業経営の	することによ り、農業経営の	業者に5年間の 無利子化が適用	することによ り、農業経営の									
				5	アセルを図り	安定化を図り	安定化 を図り	■される制度改正	安定化を図り									
事				1	担い手の増加に をすると認めら	担い手の増加に 答すると認めら	担い手の増加に 資すると認めら	が行われ、市町村の金利負担が	担い手の増加に 資すると認めら									
	評価			1	れる。	れる。	れる。	▋無くなったため	れる。									
務	内							借入者数は大き く増加しない										
	容	#4	総合評価の	判断				が、過去より融										
事		ŦE	里中 またけ	指煙				資を受けている										
7		Ø.	の実績値にある自己分析	関す				認定農業者の農 業経営の安定化										
alla.		•						が図られている										
業								ため良好と判断 する。										
								7.00										
評																		
価																		
		A ## = +-						70 1b a + + 60 64										
		今後の方向	191生					現状のまま継続	IDO.				D10					
					₹5: 平成24年度借入ゲ	♪から人・農地プ [・]	ランに位置付けら	れた認定農業者	R8 :				R10 :					
					こ5年間の無利子	化が適用される制	度改正が行われ、	市町村の金利負										
				ŧ	旦が無くなったか	ヾ、過年度からの(= ウルに繋がるし	借入者の利子補給 認められることか	が引き続きあ										
					り、辰禾柱呂のす と考える。	(たにに乗り)のと	1000 0100 C C N	り他がする手未										
	方向性	生の判断理	曲															
	改善、	改革の内 R8、R10)	容															
	(KO,	πδ, KIU)	,															

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	農業体験事業	l .			事業期間	平成	28年度 ~ -	- 年度					•	<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-2	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	新規就農者の誘致	枚を図り、本市の	農業の振興と地域	の活性化を図る	•			手段 (どのような方法で 実現するのか)	市内で新規就農る業を実施しするこ	を希望する者を対 ことで、就農のき	象に、「お試し暮 っかけづくりをし	いいない いまれる いまない いっぱい かいまい いっぱい かいしょう いいしょ かいしょ かいしょ かいしょ かいし かいま しんしょ かいしょ かいしょう かいま しゅう しゅう かいま しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう かいまい しょう	引用して宿泊し、: 曽加を図る。	先進農家で1週間程度の農業体験事
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内で新規就農る	を希望する者。						成果 (どのような効果が 得られるのか)	就農へのきっかり	ナづくりを行い、	意欲ある新規就農	とと とく と	こができる。	
事業開始時の状況 緯	!・これまでの経													

[DO]

実績

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3 次実施4カ年計	·画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地方	債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
-			実績額				0				0					0	0
入	その	他	計画額				0				0					0	0
さ		_	予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
れ	一般財	源	計画額	93, 000	93, 000	,	279, 000	94, 000	0.,000	94, 000		94, 000	94, 000	94, 000	94, 000	376, 000	937, 000
た		_	予算計上額	93, 000	93, 000	93, 000	279, 000	94, 000	94, 000		188, 000					0	467, 000
12			実績額	0	0	0	0	0			0					0	0
事	事業費台	計	計画額	93, 000	93, 000	93, 000	279, 000	94, 000	94, 000	94, 000	282, 000	94, 000	94, 000	94, 000	94, 000	376, 000	937, 000
		_	予算計上額	93, 000	93, 000	93, 000	279, 000	94, 000	94, 000	0	188, 000	0	0	0	0	0	467, 000
業			実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費の推	事業費予算 内容			体験農園謝礼 70 千円 燃料費 8千円 光熱水費 6千円 寝具リース 9千 円	千円 燃料費 8千円	体験農園謝礼 70 千円 燃料費 8千円 光熱水費 6千円 寝具リース 9千 円		70千円 燃料費 8千円 光熱水費 6千円	体験農園謝礼 70 千円 燃料費 8千円 光熱水費 6千円 寝具リース 10千 円								
移	前年度予算 の比較 (増減理E	ξ		前年度と同額	前年度と同額	前年度と同額		寝具リース料の 値上がりによる 増	前年度と同額								
	実績とのは (増減理)	比較由)		体験希望者がい なかったため		体験希望者がい なかったため		体験希望者がい なかったため									

_																		
7	舌動指:	漂1((「手段」をもと	に設定)	指標名:利用者数	牧		指標の求め方:和	用者数									
J.	成果指:	票1((「成果」をもと	に設定)	指標名:新規就提	農者等人数		指標の求め方:令	3和3年度以降新	規就農者数累計								
						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年記	計画		第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
			動指標 1 (単位/人)	計画値実績値	1	1	1		1	1	1		1	1	1	1		
	;	=	文字位/ 入/ 文果指標 1	夫根他 計画値	2	2	3		3	4	4	1	5	5	6	6 6	5	
			(単位/人)	実績値	2	2	3		4									
			事業の達成度 活動指標をも	とに評価)				達成されていない										
			事業の成果 成果指標をも	とに評価)				上がっていない										
			業の効率性 事業費に対す	る成里)				上がっていない										
1		_	合評価	61903C)				普通である										
	務	评而为容	総理由 記 記 記	平価の判断標 を 直値に関す	合行な新まな新まな新まな新まな新まな事業を要、進、あるとない。	希望者がいた場合、農とでは 会、ことでは がいた場合、 でいる。 新規に が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、	希望者がいた場合、 合、ことでは を で うこと が は あ り ことで き き き き き き き き き き き き き き き き き き き	判未望合行な新すの 財経者、うこ規る要か 出のいた体はある要か ままりで 表記を表示する。 一位の では、 を表示する。 では、 を表示する。 では、 を表示する。 では、 のた。 のた。 のた。 のた。 のた。 のた。 のた。 のた。	る中で、短期間 の農業体験の	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今	 ・ 後の方向性					現状のまま継続										
	齿	向性の善、さ	の判断理由 改革の内容 (8、R10)		であり、新規就農	■ 望者がいた場合、 豊を推進するに当 希望者がきやすい。	たり、必要な事業	とは重要なこと であるため必要	R8 :			<u> </u>	R10 :				<u> </u>	

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

(単位:円)

-	事 業 名	農業次世代人	、材投資事業			事業期間	平成	24年度 ~ -	- 年度						
	事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-2	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
	「のために実施する	農業従事者の高齢	給化が急速に進展	しており、青年の	新規就農者を増加	・ 加させることで持続	可能な力強い	農業の実現を図	手段 (どのような方法で 実現するのか)	経営リスクを負っ	っている新規就農	者の経営が軌道に	- 乗るまでの間、-	-定の給付金を交付	付する。
のか)										農意欲の喚起と就農後の定着によ					
緯	事業開始時の状 沥	兄・これまでの経	国の事業として、間の支援を実施。	. 平成24年度より 。令和4年度からは	就農前後の所得研 経営開始資金(筐保を目的とした青 ※経営開始型から名	年就農給付金 品称変更)の支	事業(農業次世代 5援期間が3年に変	人材投資事業※)が 更となった。	^ヾ 開始。就農準備其	期間の支援(就農	準備型)として2st	年間、就農直後の	経営が不安定な時	期の支援(経営開始型)として5年

[DO]

実績

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3 次実施4カ年計	·画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
国		費	計画額				0				0					0	
			予算計上額				0				0					0	
			実 績 額				0				0					0	
道	į .	費	計画額	12, 000, 000	10, 125, 000	9, 750, 000	31, 875, 000	7, 950, 000	7, 950, 000	7, 950, 000	23, 850, 000	7, 950, 000	7, 950, 000	7, 950, 000	7, 950, 000	31, 800, 000	87, 525, 0
			予算計上額	12, 000, 000	7, 875, 000	7, 500, 000	27, 375, 000	7, 950, 000	6, 450, 000		14, 400, 000					0	41, 775, 0
			実 績 額	9, 358, 393	5, 185, 973	7, 235, 181	21, 779, 547	5, 901, 982			5, 901, 982					0	27, 681, 5
地	方	债	計画額				0				0					0	
			予算計上額				0				0					0	
			実 績 額				0				0					0	
そ	· の ·	他	計 画 額				0				0					0	
			予算計上額				0				0					0	
			実 績 額				0				0					0	
E	般 財	源	計 画 額				0				0					0	
			予算計上額				0				0					0	
			実 績 額				0				0					0	
事	業費合	計	計画額	12, 000, 000	10, 125, 000	9, 750, 000	31, 875, 000	7, 950, 000	7, 950, 000	7, 950, 000	23, 850, 000	7, 950, 000	7, 950, 000	7, 950, 000	7, 950, 000	31, 800, 000	87, 525, 0
			予算計上額	12, 000, 000	7, 875, 000	7, 500, 000	27, 375, 000	7, 950, 000	6, 450, 000	0	14, 400, 000	0	0	0	0	0	41, 775, 0
			実 績 額	9, 358, 393	5, 185, 973	7, 235, 181	21, 779, 547	5, 901, 982	. 0	0	5, 901, 982	0	0	0	0	0	27, 681, 5
事	業費予算 内容	. о		補助金 12,000千円 補助対象者 7件	補助金 7,875千円 補助対象者 6件	補助金 7,500千円 補助対象者 5件		補助金 7,950千円 補助対象者 6件	補助金 6,450千円 補助対象者 5件								
前	年度予算 の比較 増減理由			補助対象者が増加したことに伴う増額		補助対象者が減 少したことによ る減額			補助対象者が減 少したことによ る減額								
	:績との比 増減理由			対象者変更による減	対象者変更による減	対象者の所得基 準超過による補 助金額の減額		対象者変更による減									

方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)

活動指	[標 1	(「手段」			申請者数(夫婦の均	場合は夫婦で1)		新規給付申請者数		夫婦で1)							
成果指	信標 1	(「成果」	をもとに設定)	指標名:新規就	農者数		指標の求め方:	令和3年度以降新	規就農者数累計								
						3 力年計画				も3カ年計画				3次実施4力年記	1		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第 3 年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	指	活動指標 (単位/)		2		1			1	1		1		1	1		
	標	成果指標(単位/)		2	2	2		3	4	1	4	5	Ę	6	6		
l		事業の達	人根尼		L		ほぼ達成されている										
		事業の成					少し上がっている										
		事業の効	 率性				少し上がっている										
		総合評価	c対する成果) i				良好である										
	評価内容			や進新い就る新着ととない。 後行た手農こ規・ を行たと者ととない。 となり、 となり、 となり、 となり、 となり、 となり、 となり、 となり、	や後継者不足が 進行するなか、	や進新い就る新着と就婚者をとこれが、担規すなと者と別とがいい。とこれが、担規するとのの新援りのの新援りののが、担規す、定れが、担規す、定れ		や後継者不足が 進行するなか、	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方	向性	0.5			現状のまま継続					D10					
				の、全体的な農業 状況である。今後	こより新規就農者 家の高齢化により きも継続して補助 を図っていくこと	、各地域の担い手 をしていくことに	が足りていない	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 〇 過疎計画掲載 〇

事 業 名	新規就農者支	援事業			事業期間	平成	15年度 ~ -	- 年度				•		<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-2	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	新規就農者の誘致	女を図り、本市の	農業の振興と地域の	の活性化を図る	•			手段 (どのような方法で 実現するのか)	新規就農者が農地	地を賃借した場合	や農業機械や資材	を購入した場合、	一定の助成金を	で付する。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内に居住し、業	新たに農業経営に	よって自立しよう。	とする者				成果 (どのような効果が 得られるのか)	意欲のある新規就	就農者を助成する	ことで、経営の安	定と新たな担い手	€の確保ができる。	
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	農村の高齢化、征	後継者不足が進むな	なか新たな担い!	手を確保するため、	新規就農者への	の支援を実施。							

[DO]

実績

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費	計 画 額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	地 方	債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
入	そ の	他	計画額				0				0					0	0
≥			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
れ	一 般	財源	計画額	0		900, 000	900, 000	166, 000	.,,	150, 000		1, 050, 000	150, 000	1, 050, 000	150, 000	2, 400, 000	4, 666, 000
た			予算計上額	0	150, 000		1, 200, 000	166, 000	-,,		2, 973, 000					0	4, 173, 000
12			実 績 額	1, 341, 500	697, 500	, ,	3, 089, 000	945, 493			945, 493					0	4, 034, 493
事	事業費	合計	計画額	0	0	900, 000	900, 000		1, 000, 000	150, 000	1, 366, 000	1, 050, 000	150, 000	1, 050, 000	150, 000	2, 400, 000	4, 666, 000
			予算計上額	0	150, 000	1, 050, 000	1, 200, 000	166, 000	2, 807, 000	0	2, 973, 000	0	0	0	0	0	4, 173, 000
業			実 績 額	1, 341, 500	697, 500	1, 050, 000	3, 089, 000	945, 493	0	0	945, 493	0	0	0	0	0	4, 034, 493
費の推	事業費予			当初なし	農地貸借3件 150千円	農地貸借 3件 機械等 1件 補助金 1,050千円		農地貸借 4件 補助金 166千円	農地貸借 3件 機械等 3件 補助金 2,807千円								
移	前年度予 の比 (増減到	:較		申請予定者の減	申請予定者の増	申請予定者の増		機械等の補助申 請者がいないこ とによる減	申請予定者の増								
	実績との (増減理	の比較理由)		機械等 3件 農地貸借 4件	機械等 2件 農地賃借 3件	機械等 1件 農地賃借 3件		機械等 1件 農地賃借 4件									

181	乗り71年	移・評1	Щ														
活	動指標	1 (「手	段」をもとに設定)	指標名:助成金	申請者数		指標の求め方:即	动成金申請者数									
成:	果指標	1 (「成	果」をもとに設定)	指標名:新規就	農者数		指標の求め方:令	6和3年度以降新	規就農者累計								
					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	13 力年計画			第	3次実施4カ年	計画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年 合 計	第4年次(6年度)	第5年次	第6年次	実施3カ年合計	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年合計	総合計画
	T	活動拍	指標 1 計画値	(3年度)	(4年度)	(5年度)	1 11	(0年度)	(7年度)	(8年度)	4	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	1	
	指		立/人) 実績値	4	3	3		5			<u> </u>	·				-	
	標	成果排	旨標 1 計画値	2	2	3		3	4		4	5	5		6 6	6	
		(単位	立/人) 実績値	2	2	3		4									
			D達成度 指標をもとに評価)				達成されている										
			D成果 指標をもとに評価)				上がっている										
			D効率性 費に対する成果)				上がっている										
		総合計					良好である										
事为事業語価	評価内容		総合評価の判断理由または関する自己分析	や進新い就る新着るでや進新い就る新着るととなった手農これ場とことるをは関する。	や後継すなと 新たちとなる まる まる まる まる まる まる を に よる を は と は と は と は と ま と ま と は と ま と ま と は と ま と に と ま と れ と ま と れ と ま と れ と ま と に と ま と に と ま と に と ま と に と れ と に と れ と に と れ と に れ と れ と れ と	や進新には、世界のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	がっていると判	や進新い就る新着ととない。とは、世報では、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後0					現状のまま継続										
				R5 :				R8 :			l .	R10 :				1	II.
				申請者・新規就 者等の拡充は、 者である担い手	将来にわたり地域 として、経営規模	ており、当該事業 農業を担う意欲と 拡大や農地保全を ことから継続する	能力のある農業 図り、農業・農										
	改善	性の判 、改革 i、R8、I	の内容														

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	地域おこし協	力隊事業			事業期間	平成3	0年度 ~	令和12年度					•		
事業性質区分	新規・継続	新規(掲載)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-2	他に関連す 基本事業	· a	_					所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	新規就農者の増力 活動を行うととも	で図るため、国 いに、農作業を通	の地域おこし協力 じ農業技術を習得	隊制度を活用し、 し、市内での新	- 、農作業の支援や市 規就農を目指す。	「内農業等の情	報発信などの	地域 手段 (どのようか 実現するの	よ方法で	指導農業士や先達 業に必要な資格を	進農家への農作業 を取得させ、3年	の支援(農業研修 後には市内での新	る)により農業技術 行規就農を目指す。	所を習得するとと	もに、農業大学校等での研修や農
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内で新規就農る	希望する者						成果 (どのようか 得られるの		農業従事者の減り	少や農業の担い手	不足の低減が図ら	っれる。		
事業開始時の状況緯	・これまでの経	H3Oより新規就農	を目指す方を対象	に、委嘱型の農	作業支援員として횧	募集を開始。H3	30、R2、R3、R	4に1人ずつ採用	L. R31:	こ1人が新規就農。	現在2人が新規家	1農に向けて活動し	している。		

[DO]

実績

					第1次実施	13カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次	第6年次	実施3カ年合計	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年合計	総合計画合計
		費	計画額	(3年度)	(4年度)	(5年度)	<u>п</u>	(0年度)	(7年度)	(8年度)	п п	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	пп	
	国	复	予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	道	78.	計画額				0				0					0	0
	追	貧					0				0					0	0
			予算計上額 実績額				0				0					0	0
	1th	+ / =					0				0					0	0
	地	方 債					0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
入	7	♠ //II-	実績額				0				0					0	0
	そ	の他					0				0					0	0
さ			予算計上額				0				0					0	0
	<u> </u>		実績額				0	0.004.000			0					0	0
れ	— _{fi}	段 財 源		11, 490, 000			34, 470, 000	8, 604, 000	-,,	8, 604, 000	, ,	8, 604, 000	8, 604, 000	8, 604, 000	8, 604, 000	34, 416, 000	94, 698, 000
た			予算計上額	11, 490, 000			31, 431, 000	8, 604, 000	14, 645, 000		23, 249, 000					0	54, 680, 000
,-			実績額	7, 120, 962			21, 807, 779	7, 987, 107			7, 987, 107					0	29, 794, 886
事	争 業	費合計		11, 490, 000			34, 470, 000	8, 604, 000	8, 604, 000	8, 604, 000	25, 812, 000	8, 604, 000	8, 604, 000	8, 604, 000	8, 604, 000	34, 416, 000	94, 698, 000
-alle-			予算計上額	11, 490, 000			31, 431, 000	8, 604, 000	14, 645, 000	0	23, 249, 000	0	0	0	0	0	54, 680, 000
業			実 績 額	7, 120, 962		7, 760, 234 報償 6, 135千円	21, 807, 779	7, 987, 107	0	0	7, 987, 107	0	0	0	0	0	29, 794, 886
費				報償 7,746千円 旅費 804千円 需用費 315千円	旅費 830千円	旅費 715千円		報償 5,871千円 旅費 515千円	報償 9,915千円 旅費 813千円								
	事業	費予算の		■ 役終費 450千円	需用費 315千円 役務費 116千円	需用費 315千円 役務費 108千円		需用費 570千円 役務費 203千円	需用費 915千円 役務費 559千円								
の		内容		委託料 26千円	委託料 13千円 賃借料 1,752千円	委託料 38千円 賃借料 1,460千円		委託料 38千円 賃借料 1,200千円	委託料 42千円 賃借料 1,980千円								
推				備品 337千円	備品 161千円	備品 186千円 会議負担金 12千円		備品 199千円	備品 409千円								
100	-			会議負担金 12千円 採用予定者の増		任期満了の協力		会議負担金 8千円 協力隊員の減に	会議負担金 12千円 協力隊員の増に								
移	並左	度予算と			等の経費の減	隊がいることに		よる減額	よる増額								
	削平 0	段ア昇 ⊂)比較				よる経費の減											
		減理由)															
					採用者が予定よ			消耗品費・備品									
	宝結	との比較		り少なかったた	り少なかったた			購入費・旅費等									
	(増	減理由)		α)	め	の減		の減									
					1			l	<u> </u>								

拼	標の指	移・評価	i														
泪	動指標	1 (「手段	殳」をもとに設定)		地域おこし協力隊(農	是作業支援) 実人数	指標の求め方:										
成	果指標	1 (「成界	具」をもとに設定)	指標名:新規就			指標の求め方:*	令和3年度以降地			規就農をした延人	数					
				the state of		第3万年計画		等4年次		13 力年計画	T	75 7 T Va		3次実施4力年		1	第7期
				第1年次(3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次(7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次(9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		活動指	7	<u> </u>	1 (1		1	0		1	1	0	1	1		
	指標	(単位 成果指	7(1)(1)		0 1	2		3	5 5		6	7	7	5	3 0		
		成果相 (単位			1 1	2	·	3	3		0	 			<u></u>	2	
			達成度 指標をもとに評価)			あまり達成されていない										
		事業の	成果				あまり上がってい										
		_	指標をもとに評価 効率性)			ない										
		(事業費	費に対する成果)				変わらない										
		総合評	価	白コ八七 .	白コ八七	습크 <u>사</u> 된 .	普通である	白コ八七 .	カコハモ .	白コハモ・	刘乾 理	습크八七 ·	白コ八七	白コ八七	カコハモ .	地版用由	
				自己分析:地域おこし協力	自己分析:地域おこし協力	自己分析:地域おこし協力	判断理由:地域おこし協力	自己分析: 地域おこし協力	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
				隊の制度を活用 することで、安	は なの制度をで、安 でのに収入を得 ながら農業研修	隊の制度を活用 することで、安	隊制度の活用に より、新規就農	隊の制度を活用 することで、安									
				定的に収入を得ながら農業研修	定的に収入を得ながら農業研修	定的に収入を得ながら農業研修	希望者の増加に繋がっていると	定的に収入を得ながら農業研修									
				【に臨むことがで	に臨むことがで きることから、	に臨むことがで	思われる。	に臨むことがで きることから、									
	事			新規就農者確保	新規就農者確保	新規就農者確保		新規就農者確保									
	評価			対策として有効。	対策として有 効。	対策として有 効。		対策として有 効。									
3	务																
	容		総合評価の判	折													
4	事		理由または指	宗 													
	業		る自己分析														
	₹																
1	平																
1	西																
		会後の					現状のまま継続										
	H	7 (20)	7) I-3 III	R5 :				R8 :				R10 :					
				現在、新規就農 望する例が多く	する手段として、 、新規就農希望者	地域おこし協力隊の確保に繋がって	は制度の活用を希 にいることから継										
				続する事業と考													
		可性の判断 ●、改革の															
	(F	5. R8. R	10)														

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 O 過疎計画掲載 ×

事 業 名	農作業受託組	織等育成支援	長事業		事業期間	平成	29年度 ~ -	— 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	4-1-2	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
のか)	これらを解消する受け農地を保全し	るためには、個々 していくことが必	の農家での引受け 要である。	では限界があり、		い農地所有適	がある。 格法人が農地を引 し耕作放棄地等の	(どのような方法で	受託作業に必要な	は農業用機械の新	規購入・更新に要	する経費の一部を	₹助成する。	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	農作業を受託して	こいる農業法人等						成果 (どのような効果が 得られるのか)						受託が進み耕作放棄地の解消が図
事業開始時の状況緯	・これまでの経	農村の高齢化、後	後継者不足が進むな	なか、多くの農地	2を引受け農業生産	活動を行う農地	地所有適格法人を新	新たな担い手として	支援をすることに	こより、優良農地	の保全が図られる	•		

[DO]

実績

		第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年記	一		第 7 期
	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画合計
	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	台計
国 費 計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
道 費 計 画 額				0				0					0	0
予算計上額 				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
地 方 債 計 画 額				0				0					0	0
投 予算計上額				0				0					0	0
実績額 実 額 番 の 他 計 画 額				0				0					0	0
入 そ の 他 計 画 額 予算計上額				0				0					0	0
3				0				0					0	0
まり 実り 類 割 割 割 割 割 割 割 割 割 割 割 割				0				0					0	0
れ 一 般 財 源 計 画 額 予算計上額				0				0					0	0
た実績額				0				0					0	0
天 根 俄	0	^	^	0	0	0	0	0		^	0	0	0	0
事事業質合計 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業 実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22 452 152	0	0	0	0	O O	U	0	0	U	0	0	0	0	U
費														
事業費予算の内容														
の内容														
推														
16														
移前年度予算と														
の比較(増減型力)														
(増減理由)														
実績との比較 (増減理由)														
(培)《理田)														

Ħ	標の	推移	・評価															
7	動指	標 1	(「手段」をもと	:に設定)	指標名:申請件数	数		指標の求め方:令	3和3年度以降申	請件数累計								
Æ	 大果指	標 1	(「成果」をもと	:に設定)	指標名:農業法。	人受託面積		指標の求め方:当	á該年度受託面 積	/令和元年度受託	面積							
						第 1 次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年記	計画		第 7 期
					第1年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		指	活動指標 1 (単位/件)	計画値実績値		_	_		_	_	_			_	_	_		
			式果指標 1	計画値	_	_	_		_	_	_		_	_	_	_		
			(単位/ha)	実績値	0	0	0		0									
			事業の達成度 (活動指標をも	,とに評価)														
			事業の成果 (成果指標をも	とに評価)														
		7	事業の効率性															
			事業費に対す	る成果)				****										
		ì	総合評価		自己分析:	自己分析:	自己分析:	普通である 判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
					地域の担い手で	地域の担い手で	地域の担い手で	実績はないが、	地域の担い手で									
					組織を支援・育成オスニレニト	組織を支援・育	組織を支援・育	マは、は軽音不足による耕作放棄地発生防止のため、農作業受	組織を支援・育成することによ									
					り、優良な農地	り、優良な農地	り、優良な農地	ため、農作業受	り、優良な農地									
					用が図られるこ	用が図られるこ	用が図られるこ	託組織への支援 が必要になると	用が図られるこ									
	事	評			とから継続。	とから継続。	とから継続。	考える。	とから継続。									
		価																
		内容	松 全:	評価の判断														
	事		理由	または指標 遺値に関す														
				3位に関り 3分析														
	業																	
	≡ara																	
	評																	
	価																	
		ŀ																
	-		今後の方向性		R5 :			現状のまま継続	R8 :				R10 :					
					地域の担い手でも	ある農作業受託組 全、有効活用が図		ることにより、					K10 .					
						主、有別沿用が凶	られることから胚	FOT o										
			の判断理由 改革の内容															
	Ç	唐、 (R5、	成単の内容 R8、R10)															

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 〇

事 業 名	農業経営体支	援事業			事業期間	令和3	3年度 ~	令和5年	度						
事業性質区分	新規・継続	新規(予算)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-3	他に関連す 基本事業	· る _						所管課係	農政課農政係
	高齢化に伴い担い 要となるため。	い手の経営面積が	拡大する方向にあ	り、拡大した面積	- 責に対応するため!	こは、農作業機	械の大型化等	が必 手段 (どのよ 実現する	こうな方法で	規模拡大等に対応 100万円)	むするために農作	業機械を購入した	もの(50万円以上	:) に対し、10分	か3以内で補助を交付する。(上限
(誰・何を対象として	度以内に経営規模	莫拡大 (1.5ha以上	50歳未満の専業専 こ)か施設園芸作物 機を導入する生産	勿作付け面積拡大	者がいる65歳以上 <i>0</i> : (10a以上) 、ま	D農業者(個人紀 たは既に5戸か	経家)、過去 Nら農地を借り	3年 成果 「受け (どのよ 得られる	こうな効果が るのか)	国の補助事業を受	受けることが困難	な個人経営の農業	者へ補助すること	:により、持続的:	な農業経営ができるようになる。
事業開始時の状況 緯	・これまでの経														

[DO]

実績

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年記	十画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費					0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	道	費					0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	地	方 債					0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
入	そ	の他					0				0					0	0
さ			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
れ	— A	段 財 源		5, 000, 000			15, 000, 000	5, 000, 000	-,,	5, 000, 000						0	30, 000, 000
た			予算計上額	5, 000, 000			15, 000, 000	5, 000, 000	5, 000, 000		10, 000, 000					0	25, 000, 000
12			実 績 額	6, 649, 440	,		10, 236, 126	0			0					0	10, 236, 126
事	事 業	費合計		5, 000, 000			15, 000, 000		0, 000, 000	5, 000, 000	15, 000, 000	0	0	0	0	0	30, 000, 000
-114			予算計上額	5, 000, 000	, ,	5, 000, 000	15, 000, 000	5, 000, 000	5, 000, 000	0	10, 000, 000	0	0	0	0	0	25, 000, 000
業			実 績 額	6, 649, 440		, ,	10, 236, 126	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10, 236, 126
費				補助金1,000千 円×5件	補助金1,000千 円×5件	補助金1,000千 円×5件		補助金1,000千 円×5件	補助金1,000千 円×5件								
	事業	費予算の		□ ^ 51 +	U ~ 2H	L1 × 2/H		U ~ 21H	L1 \ 21H								
の	7 7	内容															
推																	
711	-			新規計上	前年と同額	前年と同額		前年と同額	前年と同額								
移	* 7	中マ 体 し		初成日工	刊十二日版	刑牛と同僚		別午と同僚	刊十二円版								
		度予算と)比較															
		減理由)															
				補助事業利用者				補助事業利用者									
	宝结	との比較		が多かったため	が少なかったた	が少なかったた		がいなかったた									
	(増	減理由)			α)	ره		ريم									
								1			l .				·		

ŧ	8標の折	移・評価	T .														
ž	舌動指標	1 (「手戶	没」をもとに設定)	指標名:農業機構	械購入者数		指標の求め方:農	農業機械購入者数									
J.	戊果指 標	1 (「成界	果」をもとに設定)	指標名:農業機構	械購入者数の累計		指標の求め方:農	農業機械購入者数	の累計								
					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年記	計画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	指	活動指 (単位		5 7	5 1	5 4		5 0	5	5							
	標	八木扣		5	10	15		18	23	28							
		(単位	☑/人) 実績値 D達成度	7	8	12		12									
			指標をもとに評価)				あまり達成されていない										
		(成果	指標をもとに評価)				変わらない										
		(事業))効率性 費に対する成果)				変わらない										
		総合評	F価	カコハゼ	カコハギ	カコハゼ	普通である	63.VE	カコハゼ	53AE	判断理由:	<u> </u>		효크 / 또	53.0£	Stat Not TOLL -	
	事務事業評価		総合評価の判断理由または指標の実績値に関す	作た傾い経してド使トてか械 で農向担営工の日 農をととなる をがあ手積作こンたもい新に く増り農ををとなる もいまで、家拡続やしまい。 いまで、家拡続で いまで、ないまで、 いまで、 のる若が大け、を一しと機る	作た傾い経してド使トでか械時に傾い経してドウトである若が大け、を一しと機つ、家拡続やことをはい新にない音標をととなる苦るた対をとなるとなる。	作た傾い経してド使トてか械 で農向担営い口用農を をがあ手積作こンたもい新に さがあい口用農を をととなる普るた対 をとなるであた対 で、家拡続やり、家拡続で のし業で、入 の をとなるで の に の し と の し と の し と の し と の し に の に の に の に の に の に の に の に の に の		作できながり に農地にあり に担い に手 とがあり と なえ、 なえ、 な え、 な が り に り に り に り に り た り た う た う た う た う た う た う た う た う た	自己分析:	自己分析:	刊即理出:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の	_				現状のまま継続										
		7 (50)	- 23 I. TIE	R5 :				R8 :			II.	R10 :				II.	
	改			高齢化に伴う担(ます拡大するこ。 ます拡大するこ。 者への支援は必う	い手不足により、 とが予想されるた 要と考える。	一人当たりの耕作 め、引き続き規模	面積は今後ます を拡大する農業										

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	農地中間管	理事業			事業期間	平成	25年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-3	他に関連する 基本事業	4-1-2					所管課係	農政課農政係
目的(何のために実施するのか)					- 間管理権を設定し、 集約化を促進する。		模拡大を目指す担	手段 (どのような方法で 実現するのか)	・農地中間管理事 ・機構集積協力金	事業の制度の啓蒙 会の交付や固定資	及び積極的な活用 ^{産税の軽減措置な}	の推進 ど、事業活用のメ	リットの情報提供	い手への農地の集積を図る。 共を行い事業の活用を推進する。 事業への乗り換えに向けた啓発を
対象 (誰・何を対象として いるのか)	離農や経営規模を	を縮小する農家及	び経営規模の拡大	を目指す農家				成果 (どのような効果が 得られるのか)	優良な農地の確保 また、耕作放棄地			担い手による農用	引地の集積、集約位	とが図られる。
事業開始時の状況 緯	・これまでの経													

[DO]

実績

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	13カ年計画			第	3次実施4力年計	一画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地 方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
入	その他	計画額	115, 000	115, 000	115, 000	345, 000				0					0	345, 000
à		予算計上額	0	0	0	0				0					0	0
-		実績額	0	0	0	0				0					0	0
れ	一般財源	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
<i>t</i> =		実績額				0				0					0	0
事	事業費合計	計画額	115, 000	115, 000	115, 000	345, 000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	345, 000
		予算計上額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業		実績額	0	0	0	0	0	0	(0	0	0	0	0	0	0
費			なし	なし	なし											
員	事業費予算の															
の	サ来員 ア昇の															
推			h. 1	<i>t.</i> .	<i>t.</i> .											
移			なし	なし	なし											
,,,	前年度予算と															
	の比較 (増減理由)															
	(-8//2-14)															
			協力金の申請が	協力金の申請が	協力金の申請が			 							1	
	中体しのいせ		なかったため	なかったため	なかったため											
	実績との比較 (増減理由)															
	(-1/2/															

方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)

活動指	標 1	(「手段」	をもとに設定)	指標名:当該年月	度事業活用件数		指標の求め方:	当該年度事業活用	開始件数								
成果指	標 1	(「成果」	をもとに設定)	指標名:担い手	こよる農地集積率		指標の求め方:持	旦い手の農地面積	/市内の農地面積	(農地利用集積状	況用調査より)						
					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	十画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	指	活動指標 (単位/作	生) 実績値	<u>1</u> 2 78	1 0 79	0 80		0 81	82	1 83		1 84	85	5 86	1 87		
		(単位/9		75		{		75									
			票をもとに評価)				あまり達成されていない										
	L		票をもとに評価)				変わらない										
	L		こ対する成果)				変わらない										
		総合評価		自己分析:	自己分析:	自己分析:	普通である 判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
務	評価内容	3		今後も引き続 き、当制度を利 用しながら担い 手への農地の集	当該年度に当事者 はいな今に が、き、地のの もいた。 が、き、地の もいた。 もいた。 もいた。 もいた。 もいた。 もいた。 もいた。 もいた。	当該年度に当事 業の利用開始も はいなかった が、今後も引き 続き、担い手へ	当該事業の利用 件数別別なを 財別を が、する担 と を し て 、 地 い の さ と り の も と り の り る は り り り り り り り り り り り り り り り り り	当該年度に当事 業の利用開始者 はいなかった が、今後も引き 続き、担い手へ									
	ŀ	 今後の方	· 向性				現状のまま継続										
		, 18,0073		ことが予想されん	┃ ないが、今後、高 ることから、担い があることから今	手へ農地を集積す	機する方が増えるうえで、担い	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	農民協議会活	動促進事業			事業期間	昭和	39年度 ~ -	— 年度						·
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-4	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施する のか)	各種農業問題につ 同協議会の活動の			農業団体との連	- 隽を図りながら、誤	果題解決に向け	ての運動を進める	手段 (どのような方法で 実現するのか)	農民協議会の運	営に係る費用を補	助(定額)する。			
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川市農民協議会	È						成果 (どのような効果が 得られるのか)	農民協議会の活	動が活性化され、	農民組織の育成か	「図られる。		
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	農業者の社会的なまた、行財政改選	かつ経済的な向上で 革により平成17年原	を目指し、農政で ほから補助額を1	女革・農産物価格要 0%(15,000円)、	求運動・税対策 同様に平成209	策など組織の意思: 年度からはさらに	吉集に努め、砂川市 0%(13,000円)削	:農業の発展と農 ^材 減している。	村基盤の確立に寄-	与する諸運動を展	開する組織運営費	貴として助成してい	いる 。

[DO]

実績

			第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3 次実施4カ年計	画		第 7 期
		第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	画額				0				0					0	0
	計上額				0				0					0	0
	績 額				0				0					0	0
	画額				0				0					0	0
	計上額				0				0					0	0
	績 額				0				0					0	0
	画額				0				0					0	0
1X	計上額				0				0					0	0
	績 額				0				0					0	0
	画額				0				0					0	0
3	計上額				0				0					0	0
美 美	績 額				0				0					0	0
100 100 100	画額	122, 000	122, 000	122, 000	366, 000	122, 000	,	122, 000		122, 000	122, 000	122, 000	122, 000	488, 000	1, 220, 000
1	計上額	122, 000	122, 000	122, 000	366, 000	122, 000	122, 000		244, 000					0	610, 000
*	績 額	122, 000	122, 000	122, 000	366, 000	122, 000			122, 000					0	488, 000
*	画額	122, 000	122, 000	122, 000	366, 000	122, 000	122, 000	122, 000	366, 000	122, 000	122, 000	122, 000	122, 000	488, 000	1, 220, 000
	計上額	122, 000	122, 000	122, 000	366, 000	122, 000	122, 000	0	244, 000	0	0	0	0	0	610, 000
業実	績 額	122, 000	122, 000	122, 000	366, 000	122, 000	0	0	122, 000	0	0	0	0	0	488, 000
費	神日	甫助金 122千 円	補助金 122千 円	補助金 122千 円		補助金 122千 円	補助金 122千 円								
事業費予算の内容															
推															
移	前	前年度と同額	前年度と同額	前年度と同額		前年度と同額	前年度と同額								
前年度予算と の比較															
(増減理由)															
	F	司額	同額	同額		同額									
中体 1. の 1/4 # 2		-2 HJK	In a resk	ing light		ing log									
実績との比較 (増減理由)															
(1//2/24/															

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:交付額比率	指標の求め方:当該年度交付額/令和3年度交付額 ※令和3年度は令和元年度交付額と比較
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名:農民協議会加入率	指標の求め方:当該年度農民協議会加入者数/前年度農民協議会加入者数×100

						第 1 次宝성	3 力年計画		1 0 年及辰氏励成		3 力年計画			笋	3次実施4力年記	4面		
				第	 I 年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
					年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標	1 計画	値	100	100	100		100	100	100		100	100	100	100		
	指	(単位/%	7,130		100		100		100									
	標	成果指標 (単位/%			100 94				100 96	100	100		100	100	100	100		
		事業の達	7,130	100	94	92	92		90									
		(活動指標	票をもとに評値	<u>f</u> i)				達成されている										
			票をもとに評価	<u>f</u> j)				変わらない										
		事業の効果	率性 ニ対する成果)					変わらない										
		総合評価						普通である										
事務事業評	評価内容	Ŧ	総合評価の判 理由ま植に指 関 る自己分析	続る対すのと役的た策る活組立発め行農動織っ	農展の動民のの 村に運を協活育 の資動実議性成 持す、施会化に	自農納る対すのと役の表の対すのと役が、発の動民活権のである。との動民のの対していた。というでは、一般の対し、一体の、一般の対し、一般の対し、一般の対し、一体の、一体の、一体の、一体の、一体の、一体の、一体の、一体の、一般の、一体の、一体の、一体の、一体の、一体の、一体の、一体の、一体の、一体の、一体	続的発展に資す るための運動を 対策行動を農協議会 の活動の活性化 と組織の育成に	続的発展に資す るための動を展画動 対策行動を農民協動 で活動の活動の活動の活動の と組織の育成に	続的発展に資す るための動を実動を 対策行民協議会 の活動の活性化 と組織の育成に	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
価																		
		今後の方	向性					現状のまま継続										
	今後の方向性 方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)			農村基	盤の確立し	 物価格要求運動、 に寄与する諸運動 していると認めら	を展開する組織と	して活動し、大	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	施設野菜等堆	护肥購入助成事	業		事業期間	平成	25年度 ~	— 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-4	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
		への移行及び有機 安定化及び地域農		る地力の維持増	・ 進並びに安全・安心	かな農産物の生	産を推進すること	手段 (どのような方法で 実現するのか)	施設野菜等に施用	用するために市外	から購入する堆肥	己の運搬費に係る約	圣費を助成する 。	
		組合、農業団体、 り組む販売農家で		と認める団体で	、その組合員又は団]体員が市内に	住所を有し、施記	(どのような効果が	11. 12 mm > 1. 7				ぎの安定や規模拡	大が促進され、農業・農村の活性
事業開始時の状況 緯	・これまでの経													

[DO]

実績

					第 1 次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地 :	方 債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
_			実績額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額				0				0					0	0
₹			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
れ	一 般	財 源	計画額	300, 000			900, 000	288, 000		288, 000		288, 000	288, 000	288, 000	288, 000	1, 152, 000	2, 916, 000
<i>t</i> =			予算計上額	294, 000	294, 000		882, 000	288, 000			576, 000					0	1, 458, 000
12			実 績 額	98, 200	161, 900		384, 750	121, 450			121, 450					0	506, 200
事	事業	費合計	計画額	300, 000	300, 000	300, 000	900, 000	288, 000	=,	288, 000	864, 000	288, 000	288, 000	288, 000	288, 000	1, 152, 000	2, 916, 000
****			予算計上額	294, 000	294, 000	294, 000	882, 000	288, 000	288, 000	0	576, 000	0	0	0	0	0	1, 458, 000
業			実 績 額	98, 200	161, 900	124, 650	384, 750	121, 450	0	0	121, 450	0	0	0	0	0	506, 200
費	古光湖	貴予算の		補助金 294千 円	補助金 294千 円	補助金 294千 円		補助金 288千 円	補助金 288千 円								
の	尹未5 内	習容															
推																	
移	前在由	₹予算と		前年度と同額	前年度と同額	前年度と同額		堆肥施用量の減	前年度と同額								
	の .	比較 は理由)															
	実績と (増減	:の比較 対理由)		堆肥施用量が減 少したため		堆肥施用量が減 少したため		堆肥施用量が減 少したため									

指	標の推	移・評価	ī														
活	動指標	1 (「手段	と」をもとに設定)	指標名:堆肥施								和元年度運搬量(
成	果指標	1 (「成身	!」をもとに設定)	指標名:堆肥施			指標の求め方:	当該年度施用面積			×100 ※令和3年	▼度は令和元年度が					
				the at the black		3 力年計画	1	年 4 左 3	1	3 力年計画	T	Mr = tr vie		3次実施4力年記			第7期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次(7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次(9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		活動指	7	100	100	100	- 	100	100			100	100	100			
	指標	(単位) (13 E		-	1		126 100		100		100	100	100	100		
	124	成果指					- 	71	100	100	/	100	100	100	100		
			達成度 旨標をもとに評価				達成されている										
		事業の(成果)	成果 旨標をもとに評価				上がっている										
			効率性 貴に対する成果)				変わらない										
		総合評					良好である										
	- N		総合評価の判れたは指すの実績値に関する自己分析	で、促進する。 推理する。 性でき進と費る。 性を観察減をきる。 が増露減をきる。	で、堆肥の施用 を促進すること ができ、地力維	で、堆肥の施用 を促進すること ができ、地力維 持増進とともに 農家の経費負担	判断理由:用を促 推肥の機・地で 担軽減・地で 進が図の普 進ためた。 断した。	で、堆肥の施用 を促進すること ができ、地力維	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の	方向性				現状のまま継続										
	改善	□性の判断	D内容		・ 、有機質の投入に していることから			R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	施設野菜資材	購入助成事業	ŧ		事業期間	平成	24年度 ~ -	— 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-4	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施する	れている。現在、 品として市場での	稲作経営からの の評価も高く、所		野菜」経営が確: 担っている。	行われており、農業 立され、トマト、S 。			手段	施設野菜の生産に	こ使用するビニー	ル及びハウスの新	所設、更新に係る約	圣費の一部を助成 った	する。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	施設野菜の生産に	こ取り組む農家で	組織した部会等の	会員、又は認定	農業者であるもの。			成果 (どのような効果が 得られるのか)	施設野菜農家の約 が図られる。	怪費の負担が軽減	されるとともに、	経営の安定さらに	は規模拡大を図	ることにより農業・農村の活性化
事業開始時の状況 緯	・これまでの経													

[DO]

実績

		第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年計	一画		第 7 期
	第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
国 費計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
道費計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
地 方 債 計 画 額				0				0					0	0
投 予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
入その他計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
美 積 額				0				0					0	0
れ 一般財源 計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
た実績額				0				0					0	0
事業費合計 計 画 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予算計上額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業 実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費	申請があった場	申請があった場	申請があった場		申請があった場	申請があった場								
事業費予算の			合、補正対応 補助金		合、補正対応 補助金	合、補止対応 補助金								
の「一方容」	t゙ニールハウス新設 2	ビニールハウス新設 2	ピニールハウス新設 2		ビニールハウス新設 2	t =-ルハウス新設 2								
1/4		棟 1,300千円×0.1	棟		棟	棟 1,300千円×0.1								
推	1,300十円×0.1	1,300十円×0.1	1,300十円×0.1		1,300十円×0.1	1,300十円×0.1								
移														
前年度予算との比較														
(増減理由)														
	申請実績なし	申請実績なし	申請実績なし		申請実績なし			1						
実績との比較														
美根との比較 (増減理由)														
					1			1						

ŧ	旨標の	推移	・評価															
27	舌動指	摽 1	(「手段」をも	とに設定)	指標名:申請者	数		指標の求め方:当	á該年度申請者数									
J.	 大果指	摽 1	(「成果」をも	とに設定)	指標名:新設・引	更新棟数		指標の求め方:令	3和3年度以降新	設・更新棟累計								
							3 力年計画				3 カ年計画				3次実施4力年記			第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
			舌動指標 1 (単位/人)	計画値実績値					_	_					_			
	:	漂	成果指標 1 (単位/棟)	計画値		_												
	F	Į.	事業の達成原		0	0	0	達成されていない										
		Infl	事業の成果	もとに評価)				上がっていない										
		I I	事業の効率性					上がっていない										
		-	事業費に対 総合評価	する成果)				問題がある										
	務	評画为容	総理の実	合評価の判断標 日またはに関す 足積値に関す 日己分析	も葱減産野の可か担を野のでは、水の下でに保む、水の下でに保むのに少品薬産で、減減の水のでは、水の下がでは、水の下では、水のでは、水のでは、水のでは、水のでは、水のでは、水のでは、水のでは、水の	+ のの 北 払 T	も葱減産野の可か担軽が、高のに少品菜確欠のでに保で、減減をでに保で、減減を対したのとすでに保むのを対した。	判事の 動 事 も 実 た の 積 が の 能 が の に 高 り 大 変 の が の に あ の の が の に 施 の の の に が の に が の に が の に が る に が る に が る に が る に が る に に し し に し に し し し し し し し し し し し し し	+のの 次共市	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		4	今後の方向性	<u>±</u>				手段の見直し										
	今後の方向性 方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)				なっている。今後	単 走事者等不足など 後は、規模拡大だ る制度設計が必要	けではなく、省力	が困難な状況と	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	稲作農業振興	助成事業			事業期間	平成	26年度 ~	— 年度]				•	
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-4	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施する のか)	安心・安全な米化	作り及び付加価値	の高良品質な売れ	る米作りを促進	・ し、稲作農業の振興	を図ることを	目的とする。	手段 (どのような方法で 実現するのか)	幼穂形成期におり	ける、ケイ酸肥料	の購入に係る経費	とと と と は め する も も も も も も も も も も も も も も も も も も	5.	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川市水稲振興会内に住所を有し、	会、本市の農業協 主食用米を作付	同組合、その他市 する販売農家であ	長が認める団体 ること。	で、その団体等が当	絡該補助金を交	付する会員等はア	成果 (どのような効果が得られるのか)	追肥によりタンパ等、付加価値の	パク質含有率を低 高い売れる米が生	下させるとともに 産され、稲作農業	こ、病害虫に対する 美の振興が図られる	5抵抗性の向上、 5。	受光体制の改善、根活性の向上
事業開始時の状況 緯	・これまでの経													

[DO]

実績

			第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
		第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
国 費 計	画額				0				0					0	0
	計上額				0				0					0	0
	績 額				0				0					0	0
	画額				0				0					0	0
	計上額				0				0					0	0
	績 額				0				0					0	0
	画額				0				0					0	0
1X	計上額				0				0					0	0
	績 額				0				0					0	0
, ii ii iii	画額				0				0					0	0
X	計上額				0				0					0	0
実 i	績 額				0				0					0	0
	画額	671, 000	671, 000		2, 013, 000	671, 000	,	671, 000		671, 000	671, 000	671, 000	671, 000	2, 684, 000	6, 710, 000
	計上額	671, 000	671, 000	671, 000	2, 013, 000	671, 000	,		1, 342, 000					0	3, 355, 000
天	績 額	365, 170	645, 342	670, 995	1, 681, 507	670, 980			670, 980					0	2, 352, 487
P	画額	671, 000	671, 000	671, 000	2, 013, 000		071,000	671, 000	2, 013, 000	671, 000	671, 000	671, 000	671, 000	2, 684, 000	6, 710, 000
	計上額	671, 000	671, 000	671, 000	2, 013, 000	671, 000	671, 000	0	1, 342, 000	0	0	0	0	0	3, 355, 000
業 実 :	績 額	365, 170	645, 342	670, 995	1, 681, 507	670, 980	0	0	670, 980	0	0	0	0	0	2, 352, 487
費	神	輔助金 671千 □	補助金 671千	補助金 671千		補助金 671千	補助金 671千								
事業費予算の	· 集	, 寺別栽培80ha	特別栽培80ha	1		1 J 特別栽培80ha	特別栽培80ha								
の内容			普通栽培15ha	普通栽培15ha			普通栽培15ha								
推															
1E	亩	前年度と同額	前年度と同額	前年度と同額		前年度と同額	前年度と同額								
移前年度予算と	В	・テースと同様	17人文 こ 円 頭	ᄞᄀᅜᅜᄜᇒ		100 子及こ門頭	的一个及口門眼								
(増減理由)															
			普通栽培・特別	同額		同額									
実績との比較	未	栽培が減少した こめ減額となっ	栽培が減少した												
(増減理由)			ため減額となう た。												
	,														
						1			ı.	l.					

4	目標の	惟移	・評価															
;	舌動指:	票 1	(「手段」をもと	に設定)	指標名:実施農業	業者数比率		指標の求め方:当	当該年度実施農業	者数/令和3年度	実施農業者数(1	5人) ※令和3	年度は令和2年度	実施農業者数(11	人)と比較			
J	 发果指	票 1	(「成果」をもと	に設定)	指標名:肥料施用	用面積率		指標の求め方:当	当該年度肥料施用	面積/令和3年肥	料施用面積(821	na) ※令和3年	度は令和2年肥料	施用面積(88.5ha	i)と比較			
							3 力年計画				3 力年計画			_	3次実施4力年記			第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		诣	舌動指標 1 (単位/%)	計画値実績値	100 136	100 93			100 80	100	100		100	100	100	100		
	1	票	成果指標 1	計画値	100	. 4			100	100	100)	100	100	100	100		
	Æ	_	(単位/%)	実績値	93	117	74		101									
		(事業の達成度	とに評価)				達成されている										
			事業の成果 (成果指標をも	とに評価)				少し上がっている										
ı			事業の効率性 (事業費に対す	る成果)				少し上がっている										
П		á	総合評価					良好である										
	務「	抨而为容	理由書	平価の判断標 ではは関す	栽がる全付品作めにない、米価をはいい、大価ではいい、大価ではいい、大価であるのではいいできない、大価であるのでは、大価であるのでは、大価では必要が、大価であるのでは、大きないでは、ままないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、たらないではないでは、たらないではないでは、たらないでは、たらないではないではないでは、たらないではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは	栽培も作付面積 が減少傾向にあ るが、安心・安 全な米作り及び	作り及び付加価値の高米作りを ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	判補り米れンくたし 断助の安りい化与良。 田の夢のがるにし好 は、作てと は、全選が、というでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	作り及び付加価 値のあるとは では で で で が で が に が に が に の の る の る た た め に の る の た た の た り に り に り に り に り に り に り に り に り に り	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		-	———— 今後の方向性					現状のまま継続										
					R5 :				R8 :				R10 :				II .	
					米の「ゆめぴりた 品質な米作りを打	か」では、最高金	作りが促進された 賞を受賞するなど また、ブランド化 。	高付加価値・高										
	改	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)																

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	水稲種子温湯	殺菌消毒補助	力金事業		事業期間	平成	28年度 ~ -	- 年度					•	
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-4	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	安心かつ安全で作湯殺菌消毒に係る			稲作農業の振興	- を図るため、農薬の)使用量が低減	載できる水稲種子温	手段 (どのような方法で 実現するのか)	る。		砂川農業協同組合 経費の3分の1以内			毒に係る手数料の一部を助成す の2以内。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川市水稲振興会に住所を有し、き	会、新砂川農業協 米を生産する販売	同組合、農業団体 農家であること。	、その他市長が	適当と認める団体で	ご、その組合員	見又は団体員が市内	(どのような効果が	農薬等の使用が ることで、付加値 れる。	経滅され、安全安 西値の高い特別栽	心で付加価値の高 培米への移行を促	い米が生産できる し、経営の安定も	るとともに、慣行 り規模拡大が促進さ	栽培より特別栽培の補助率を上げ され、農業・農村の活性化が図ら
事業開始時の状況 緯	・これまでの経													

[DO]

実績

			第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
		第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	計画額				0				0					0	0
	予算計上額				0				0					0	0
	実績額				0				0					0	0
	計画額				0				0					0	0
	予算計上額				0				0					0	0
	実績額				0				0					0	0
	計画額				0				0					0	0
1X	予算計上額				0				0					0	0
	実績額				0				0					0	0
	計画額				0				0					0	0
7	予算計上額				0				0					0	0
 	実績額				0				0					0	0
100 000 000	計画額	330, 000	330, 000	330, 000	990, 000	300, 000	,	300, 000		300, 000	300, 000	300, 000	300, 000	1, 200, 000	3, 090, 000
1	予算計上額	300, 000	300, 000	300, 000	900, 000	300, 000	300, 000		600, 000					0	1, 500, 000
7	実績額	268, 554	249, 810	261, 800	780, 164	265, 474			265, 474					0	1, 045, 638
*	計画額	330, 000	330, 000	330, 000	990, 000	300, 000	300, 000	300, 000	900, 000	300, 000	300, 000	300, 000	300, 000	1, 200, 000	3, 090, 000
	予算計上額	300, 000	300, 000	300, 000	900, 000	300, 000	300, 000	0	600, 000	0	0	0	0	0	1, 500, 000
業	実績額	268, 554	249, 810	261, 800	780, 164	265, 474	0	0	265, 474	0	0	0	0	0	1, 045, 638
費		補助金 特別栽培5000kg	補助金	補助金			補助金 特別栽培3,500								
事業費予算の		普通栽培5000kg	普通栽培5000kg	kg		kg	kg								
の内容				普通栽培6,600		普通栽培6,600	普通栽培6,600								
推				kg		kg	kg								
1E	1	前年度と同額	前年度と同額	前年度と同額		前年度と同額	前年度と同額								
移前年度予算と		が十及こ内版	的干及こ門販	的干及こ門飯		的干及こ門販	前十及亡时最								
別年度で昇と の比較															
(増減理由)															
		特別栽培、普通				特別栽培、普通									
実績との比較		栽培ともに減少 したため。	栽培ともに減少 したため。	栽培ともに減少 したため。		栽培ともに減少 したため。									
(増減理由)		U1_1_U10	U1_1_0,	U1_1_0,		U 1_1_0,									
					l .	U.									

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:水稲種子温湯殺菌消毒利用者数比率	指標の求め方:当該年度利用者数/令和3年度利用者数(29人) ※令和3年度は令和元年度利用者数(30人)と比較
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:水稲種子温湯殺菌消毒利用率	指標の求め方:当該年度利用者数/当該年度水稲作付者数×100

	第 1 次実施 3 力年計画 第 1 年次 第 2 年次 第 3 年次 章							第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年計	十画		第 7 期	
							実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画合計
		or set about a St	一画値	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	
	指	, H -42 1 H 155	□ □ □ E 績値	97	93	97		97	100	100			100	100	100		
	標		一画値	50	50	50		50	50	50		50	50	50	50		
			ミ績値	52	49	52		52									
		事業の達成度 (活動指標をもとに	評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成果 (成果指標をもとに記	評価)				変わらない										
		事業の効率性 (事業費に対する成績	果)				変わらない										
		総合評価					普通である										
事務事業評価	評価内容	総合評価の 理由または の う自己分析) は関	農な農 機な 業を 変と 変と 変と 変に 高ま使 の力対また が会し が会し でいる をと でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる	な農識る等さでいる後と業が。のれ付米こものに高ま使、加をと推り対すた、加をと推りがまた用安価性からが、からと推りがある。のれ付米にもがいる。	な農識る等さでいると業が。のれ付米とでいるでは、加をといりがすった。一名で農軽安ので、一名で農軽安ので、小加をとからが、から、から、から、から、から、から、から、から、から、から、から、から、から、		などのクリーン 農業に高まって 識が高また、農薬 る。また、農薬 等の使用が軽減	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性		DE .			現状のまま継続	D0 .				D10 .					
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)			米の「ゆめぴりか 品質な米作りを推	J、安心安全な米(n」では、最高金; 生進できている。: 売するべきである。	賞を受賞するなど また、ブランド化	高付加価値・高	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	農地土壤分析	補助金事業			事業期間	平成	29年度 ~ —	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-4	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
(何のために実施する	有機農業や特別 ることにより、1 農業の促進を図る	と学肥料を低減す.	など、クリーン農 る等の適正な施肥	業を実践する農 による収量、品	・ 業者に対し、土壌分 質の安定化とコスト	↑析にかかる費 ・低減を図ると	用の一部を補助す ともに、クリーン	手段 (どのような方法で 実現するのか)	土壌分析に要する	る経費の1/3以	内を補助する。			
対象 (誰・何を対象として いるのか)	有機農業、特別 圃場	战培農産物の取組.	、YES!Clean患	農産物の取組、エ	コファーマーの取	組などのクリー	-ン農業に取り組む	成果 (どのような効果が 得られるのか)	土壌分析による側	と学肥料の低減な	ど適正な施肥によ	る収量・品質の安	で定化とコスト削減	咸への取組の推進が図られる。
事業開始時の状況 緯	・これまでの経													

[DO]

実績

		第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
	第1年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
国 費 計画				0				0					0	0
予算計」				0				0					0	0
実績				0				0					0	0
道 費計画				0				0					0	0
予算計」				0				0					0	0
実績				0				0					0	0
地 方 債 計 画				0				0					0	0
投予算計」				0				0					0	0
実績				0				0					0	0
入その他計画				0				0					0	0
予算計」				0				0					0	0
美 績				0				0					0	0
れ 一般財源 計画			,	,	65, 000	,	65, 000		65, 000	65, 000	65, 000	65, 000	260, 000	761, 000
予算計」	, ,			306, 000	65, 000	,		130, 000					0	436, 000
た実績	, ,	37, 778	40, 322	115, 318	31, 789			31, 789					0	147, 107
事業費合計 計 画		102, 000	102, 000	306, 000	65, 000	65, 000	65, 000	195, 000	65, 000	65, 000	65, 000	65, 000	260, 000	761, 000
予算計」	· ·		102, 000	306, 000	65, 000	65, 000	0	130, 000	0	0	0	0	0	436, 000
業実績			40, 322	115, 318	31, 789	0	0	31, 789	0	0	0	0	0	147, 107
費	補助金 102千	補助金 102千	補助金 102千			補助金 65千円 水田 100点								
事業費予算の	水田 140点	水田 140点	内 水田 150点			// // // // // // // // // // // // //								
の内容	畑地 150点	畑地 150点	畑地 166点		ALPO IOUM	AM - D . O O MK								
+#														
推	前年度と同額	前年申し目類	前年度と同額		実施点数の減に	前年度し目類								
移	削牛度と同額	前年度と同額	削平及と问観		美施点数の減に よる減額	削平及と问観								
前年度予算との比較					01 W 115K									
(増減理由)														
	実施点数が少な	実施点数が少な	実施点数が少な		実施点数が少な									
実績との比較	かったことによ	かったことによ	かったことによ		かったことによ									
実績との比較 (増減理由)	る減額	る減額	る減額		る減額									
		1			II.									

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:土壌分析実施数比率	指標の求め方:当該年度実施数/令和3年度実施数(54名) ※令和3年度は令和元年度実施数(46名)と比較
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:クリーン農業取組圃場面積率(Yes clean!、特裁、有機農業など、取組面積)	指標の求め方:当該年度面積/令和3年度面積 (68.4ha) ※ 令和3年度は令和元年度面積 (224.2ha) と比較

				第1次実施				なった中世	3 力年計画		T .	Andre	3次実施4力年計	上面		
			第 1 年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	美胞3ガギ 合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	夫他3万年 合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	夫施4ガ年 合 計	合計
		活動指標 1 計画値	100		100		100		100		100		100			
	指	(単位/%) 実績値	117		104		70									
	標	成果指標 1 計画値	100		100		100		100		100	100	100	100		
		(単位/%) 実績値	31	93	106		85									
		事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている										
		事業の成果				++111111111111										
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				あまり上がってい ない										
		事業の効率性														
		(事業費に対する成果)				変わらない										
		総合評価				普通である										
			自己分析:	自己分析:	自己分析:		自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
			実施点数は少な	取組圃場面積は 増えてはいない	Yes clean!や 特別裁培米など	クリーン農業取 組面積は増えて	実施点数は少な かったものの.									
			■ 環境にローイン	が、実施数は増	のクリーン農業	いないものの、	環境にローイン									
			パクトで消費者	加しており、ク	の取組面積につ	土壌分析実施数	パクトで消費者									
			一一人の高いグ	リーン農業を推 進する上で、必	けては、人幅に	は瑁加しており カリーン農	一人の高いグ									
事			進する上で、必	要な補助と思わ	は言えないもの	業の推進に寄与	進する上で、必									
	評		要な補助と思わ	れる。	の、農業におけ	していることか	要な補助と思わ									
務	価内		れる。		る塚境貝何低減 の重要性は高	ら普通と判断した	れる。									
123	容				まっていること	/_0										
		総合評価の判断 理由または指標			から、クリーン											
事		の実績値に関す			農業を推進して 行くうえで必要											
		る自己分析			な補助と思われ											
業					る。											
評																
計																
価																
		今後の方向性				現状のまま継続										
			R5 :				R8 :			II	R10 :					
			環境への負荷を付	低減し、消費者二												
			■る上で必要な補助 ■	助であることから	継続する。											
			I								1					
	方向性	生の判断理由 改革の内容														
		以単の内谷 R8、R10)														
			I													
			I													

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	農業経営資金	貸付事業			事業期間	昭和	46年度 ~ -	- 年度					1	<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-4	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	農業経営に必要なの合理化、近代化	↓機具、施設や土 ごを促進するとと	地改良を進めよう。 もに、農業経営の!	とする生産団体 安定化につなげ	- に対して無利子資金 る。	⋭の貸付を行う	ことにより、農業	手段 (どのような方法で 実現するのか)	果樹経営、農機 なお、農業協同			「る経費に対し5年 「行っている。	F以内の償還の無 ^に	利子貸付を行う 。
対象 (誰・何を対象としているのか)	農業者が組織する	5生産団体等						成果 (どのような効果が 得られるのか)	貸し付けを行った	た農業生産団体の	経費負担が平準化	ごされ、農業経営 <i>0</i>	D安定に資する。	
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	砂川市農業経営資 また、行政改革(資金貸付規則に基っ こより平成20年度だ	づき昭和46年から いら原資を5年間	o現在まで実施され 間で1千万円削減(ており、予算(200万円ずつ)	の範囲内(3千万円 し対応することと	9原資)で市内の農 なっている。	業団体等に農業の	の合理化や近代化	を促進するととも	に、農業経営の安	そ定化を図ること る	を目的に実施している。

[DO]

実績

		第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
	第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
国 費 計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
道費計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
地 方 債 計 画 額				0				0					0	0
投予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
入その他計画額	3, 918, 000	4, 029, 000	4, 980, 000	12, 927, 000	5, 391, 000	4, 749, 000	4, 484, 000	14, 624, 000	4, 578, 000	4, 523, 000	4, 562, 000	4, 464, 000	18, 127, 000	45, 678, 000
予算計上額	3, 918, 000	4, 028, 000	4, 980, 000	12, 926, 000	5, 391, 000	4, 148, 000		9, 539, 000					0	22, 465, 000
実 績 額	3, 917, 000	3, 426, 000	4, 980, 000	12, 323, 000	5, 390, 000			5, 390, 000					0	17, 713, 000
れ 一般財源 計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
ま 績 額				0				0					0	0
事業費合計 計 画 額	3, 918, 000	4, 029, 000	4, 980, 000	12, 927, 000	5, 391, 000	4, 749, 000	4, 484, 000	14, 624, 000	4, 578, 000	4, 523, 000	4, 562, 000	4, 464, 000	18, 127, 000	45, 678, 000
予算計上額	3, 918, 000	4, 028, 000	4, 980, 000	12, 926, 000	5, 391, 000	4, 148, 000	0	9, 539, 000	0	0	0	0	0	22, 465, 000
業 実績額	3, 917, 000	3, 426, 000	4, 980, 000	12, 323, 000	5, 390, 000	0	0	5, 390, 000	0	0	0	0	0	17, 713, 000
費	貸付金 3,918千円	貸付金 4,028千円	貸付金 4,980千円		貸付金 5,391千円	貸付金 4,148千円								
事業費予算の														
の「一方容」														
1//-														
推	次合代は国はの	資金貸付団体の	次合代は団はの		次소代사되셔요	資金貸付団体の								
移			貝並貝10回体の 返済額による			貝並貝10回体の 返済額による								
前年度予算との比較	增。	增。	增。			減。								
(増減理由)														
	ほぼ同額。	資金貸付の要望	同額		ほぼ同額。									
実績との比較		が少なかったた												
美々との比較 (増減理由)		め。												
		<u> </u>			II.		Į	l l						

Ħ	構の	推移	・評価															
Ä	5動指	標 1	(「手段」をもと	:に設定)	指標名:貸付件数	数		指標の求め方:当	当該年度貸付件数									
Ę	 大果指	標 1	(「成果」をもと	:に設定)	指標名:貸付限原	度額率		指標の求め方:当	当該年度貸付額/	貸付限度額								
						第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年記	十画		第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次(9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
H	Т		 活動指標 1	計画値	(3年度)	(4年度)	(5年度)	11	1	(7年度)	(0年度)	н н	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	п	
		指	(単位/件)	実績値	1	1	1		1									
		標	成果指標 1 (単位/%)	計画値	100				100	100	100		100	100	100	100		
	-		事業の達成度	実績値	100	85	100		100									
			(活動指標をも	とに評価)				達成されている										
			事業の成果 (成果指標をも	とに評価)				あまり上がってい ない										
		Ī	事業の効率性															
		-	(事業費に対す	る成果)				変わらない										
			総合評価		自己分析:	自己分析:	自己分析:	良好である 判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
					農業経営資金負	農業経営資金負	農業経営資金負	資金貸付団体の	農業経営資金負	自己分析:	B C 7 10 .	刊即任田:		B C 7 101 :	BC7111.		刊例理由:	
					負担軽減が図ら	担の半準化及び負担軽減が図ら	負担軽減が図ら	返済額により貸 付額は増減する	負担軽減が図ら									
					れている。	れている。	れている。	が、貸付件数・ 貸付資金投入率	れている。									
								はともに良好に										
	事							推移しており、 農業経営の安定										
		評						化につながって いるため良好と										
		価内						判断した。										
		容		評価の判断														
	事		理由	または指標債値に関す														
				己分析														
	業																	
	評																	
	価																	
	1Ш																	
		ŀ	 今後の方向性					現状のまま継続										
					R5 :				R8 :				R10 :				II.	
					市内の農業団体等業経営の安定化が	等に農業の合理化 が図られていると	や近代化を促進す 判断でき、今後に	るとともに、農 おいても継続す										
					る事業と考える。													
	7	方向性 b 盖	tの判断理由 改革の内容															
		(R5)	R8、R10)															

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	中山間地域等	直接支払交付	寸金事業		事業期間	平成1	3年度 ~	令和6年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	4-1-4	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
目的(何のために実施するのか)	生産条件が不利が 棄地の発生防止し の確保を図る。	な中山間地域等に こつなげるととも	おいて、農業生産 に、中山間地域等	を行う者に直接3 の農業・農村が ²	- 交付金を支払うこと 有する水源涵養機能	:により、生産 も、洪水防止機	性の向上や耕作 能等の多面的機	女 手段 じどのような方法で 実現するのか)	対象農用地での	取組について現地	及び集落協定等に	こて確認し、集落協	協定を締結した「	集落」に交付金を交付する。
対象 (誰・何を対象としているのか)	農用地区域内の第 (耕作)者。 砂川市と集落協り			定により5年以.	上継続して農業生産	崔活動を行う対	象農用地の所有	成果 (どのような効果が 得られるのか)	農業生産活動等(するとともに多	の維持のため、国 面的機能の確保が	と地方が連携を図 図れる。	囚り支援することで	、中山間地域等	における耕作放棄地の発生を防止
事業開始時の状況 緯	じ・これまじの程	することになった	<i>t</i> =。		こして実施(砂川市		から)していた か	、国の実施した事業	評価に基づき平 点	或17年度から継続	事業として21年度	まで(第2期対策)、平成22年度7	から26年度まで(第3期対策)実施

[DO]

実績

第1次実施3力年計画 第2次実施3力年計画 第3次実施4力年計画 第 7 期 第1年次 第2年次 第3年次 第4年次 第5年次 第6年次 第7年次 第8年次 第9年次 第10年次 実施3カ年 実施3カ年 実施4カ年 総合計画 合 計 合 計 合 計 合 計 (3年度) (4年度) (5年度) (6年度) (7年度) (8年度) (9年度) (10年度) (11年度) (12年度) 計画額 予算計上額 実 績 額 計画額 20, 116, 000 19, 930, 000 19, 930, 000 19, 930, 000 59, 790, 00 20, 116, 000 20, 116, 000 60, 348, 000 20, 116, 000 20, 116, 000 20, 116, 000 20, 116, 000 80, 464, 00 200, 602, 000 予算計上額 19, 931, 000 19, 930, 000 19, 930, 000 59, 791, 000 20, 116, 000 19, 803, 000 39, 919, 000 99, 710, 000 20, 073, 356 実 績 額 19, 930, 369 19, 930, 369 19, 968, 634 59, 829, 37 20, 073, 356 79, 902, 728 方 計画額 予算計上額 投 実 績 額 計画額 0 予算計上額 さ 実 績 額 計画額 6, 530, 000 6, 530, 000 6, 530, 000 19, 590, 000 6, 678, 000 6, 678, 000 6, 678, 000 20, 034, 000 6, 678, 000 6, 678, 000 6, 678, 000 6, 678, 000 26, 712, 00 66, 336, 000 - 般 財 源 予算計上額 6, 615, 000 6, 616, 000 6, 616, 000 19, 847, 00 6, 678, 000 6, 587, 000 13, 265, 000 33, 112, 000 実 績 額 6, 614, 793 6. 614. 793 6. 824. 512 20, 054, 09 6, 676, 790 6, 676, 790 26, 730, 88 計画額 事業費合計 26, 460, 000 26, 460, 000 26, 460, 00 79, 380, 00 26, 794, 000 26, 794, 00 26, 794, 00 80, 382, 000 26, 794, 000 26, 794, 000 26, 794, 000 26, 794, 000 107, 176, 00 266, 938, 000 予算計上額 26, 546, 000 26, 546, 000 26, 546, 000 79, 638, 000 26, 794, 000 53, 184, 000 132, 822, 000 26, 390, 000 実 績 額 26, 545, 162 26, 545, 162 26, 793, 146 79, 883, 470 26, 750, 146 26, 750, 146 106, 633, 616 旅費 10千円 旅費 10千円 旅費 10千円 旅費 10千円 需用費 64千円 旅費 5千円 費 需用費 64千円 需用費 64千円 需用費 64千円 需用費 32千円 役務費 9千円 役務費 9千円 役務費 9千円 役務費 9千円 役務費 4千円 事業費予算の 使用料 3千円 使用料 3千円 使用料 3千円 使用料 3千円 使用料 2千円 の 内容 交付金 26,460千円 交付金 26,460千円 交付金 26,460千円 交付金 26,708千円 交付金 26,347千円 推 前年度と同額 前年度と同額 前年度と同額 対象面積の増に対象面積の減に よる増額 よる減額 前年度予算と の比較 (増減理由) 対象面積の増に 同額 同額 推進費の交付額 よる増額 が全道的に減額 実績との比較 された為 (増減理由)

		指標の求め方: 当該年度面積/令和3年度面積(324ha)		積 (334ha) と比較	
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名:耕作放棄地発生率	指標の求め方:対象農用地内耕作放棄地/当該年度対象	農用地面積×100		
	你 4 たむた 6 上 左記 王	你った中长っ !	左引王	Mr. o. berryk a. b. tr. o. T.	

				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4力年記	十画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	#	活動指標 1 計画値 (単位/%) 実績値			{		97 101	97	97		97	97	97	97		
	指標	成果指標 1 計画値		0	0		0	0	0		(0	0	0		
		(単位/%) 実績値	i 0	0	0		0									
		事業の達成度 (活動指標をもとに評価))			達成されている										
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				変わらない										
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない										
		総合評価				良好である										
事務事業評価	評価内容	総合評価の判 理由または指 の実績値に関 る自己分析	きた。大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大	活発には 実施され 変地の発生もも 農業・機能の 保全 動機能の保全	き活動施工 大発にりの 大発と 大部のの 大部のの 大部のの 大部のの 大部のの 大部のの 大部のの 大部のの 大部のの 大部のの 大部のの 大部のの 大部のの 大部のの 大部のの 大部のの 大部のの 大部の 大部	判平りつ地大と象増ま地た棄念同ににる断断成、いにをか農加たもた地さ活実つたし、生年の経過に、地な協加、発る等さが良。 は、おり、地のは、地のは、地のは、地のは、地のは、地のは、地のは、地のは、地のは、地のは	活て棄止農面なれた。 注、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		 今後の方向性				現状のまま継続										
	方向性改善、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)	生防止と農業・農	■ 或24年度から事業 農村の多面的機能 ことから継続する	の確保が進められ	■ 耕作放棄地の発	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	経営所得安定	対策直接支払	ム推進事業		事業期間	平成	27年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-4	他に関連する 基本事業		-				所管課係	農政課農政係
	国が実施する経済 経費を補助する。		円滑に実施するため	め、事業の実施	- 主体である砂川市農	農業再生協議会	へ事業実施に係る	手段 (どのような方法で 実現するのか)				回収や農業者情報の ため補助金を交付		集計業務のほか、米・水田活用
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川市農業再生	劦議会						成果 (どのような効果が 得られるのか)	経営所得安定対策	策事業における各	種交付金が国から	。直接農業者に交付	けされ、農業経営(刀安定が図られる。
事業開始時の状況 緯	・これまでの経		から本格実施する 基本的に同じ枠組∂		- 	に実施するため	めの事務費であり、	財源は全額補助と	なっている。なお	お、平成25年度に	ついては、農業者	戸別所得補償制度	から経営所得安気	官対策へ名称変更し、農業者戸別所

[DO]

実績

						第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費	計	画額				0				0					0	0
			予!	算計上額				0				0					0	0
				績 額				0				0					0	0
	道	費	計	画額	1, 652, 000	1, 652, 000	1, 652, 000	4, 956, 000	2, 356, 000	2, 356, 000	2, 356, 000	7, 068, 000	2, 356, 000	2, 356, 000	2, 356, 000	2, 356, 000	9, 424, 000	21, 448, 000
				算計上額	1, 652, 000	1, 946, 000	2, 081, 000	5, 679, 000	2, 356, 000	2, 525, 000		4, 881, 000					0	10, 560, 000
				績 額	1, 652, 000	3, 875, 290	1, 882, 000	7, 409, 290	1, 882, 000			1, 882, 000					0	9, 291, 290
	地	方 債	計	画額				0				0					0	0
投				算計上額				0				0					0	0
				績 額				0				0					0	0
入	そ	の他	計	画額				0				0					0	0
さ			予:	算計上額				0				0					0	0
			実	績 額				0				0					0	0
れ	— A	投 財 源	計	画額				0				0					0	0
_			予:	算計上額				0				0					0	0
<i>t</i> =			実	績 額				0				0					0	0
事	事業	費合計	計	画額	1, 652, 000	1, 652, 000	1, 652, 000	4, 956, 000	2, 356, 000	2, 356, 000	2, 356, 000	7, 068, 000	2, 356, 000	2, 356, 000	2, 356, 000	2, 356, 000	9, 424, 000	21, 448, 000
			予:	算計上額	1, 652, 000	1, 946, 000	2, 081, 000	5, 679, 000	2, 356, 000	2, 525, 000	0	4, 881, 000	0	0	0	0	0	10, 560, 000
業			実	績 額	1, 652, 000	3, 875, 290	1, 882, 000	7, 409, 290	1, 882, 000	0	0	1, 882, 000	0	0	0	0	0	9, 291, 290
費					補助金 1,652千円	補助金 1,946千円	補助金 2,081千円		補助金 2,356千円	補助金 2,525千円								
,	車業	費予算の	ا															
の		内容	1															
144																		
推	_		-		対象経費の増	対象経費の増	対象経費の増		対象経費の増	対象経費の増								
移	J., _				対象栓質の増	対象経貨の増	対象栓質の増		対象栓質の増	対象栓質の増								
		度予算と D比較	:															
		減理由)																
					同額	e-maff(電子申	道からの予算配		道からの予算配									
	中结	との比較	<u> </u>			請システム)の	分の減額による		分の減額による									
		減理由)				導入による事業 費の増。	減		減									
						貝の垣。												
						l			11									

			標の求め方:活動指標の設定が困難であることから設定しない 標の求め方:当該年度経営所得安定対策申請者数/当該年度交付対象農家戸数×100												
成果指標 1 (「成果」をもとに設定) 指標名:交付申請	率	指標の求め方:当	標の求め方:当該年度経営所得安定対策申請者数/当該年度交付対象農家戸数×100												
	第1次実施3カ年計画		Mr a trade	第2次実施	3 力年計画		hh = h- i	第	3次実施4力年計	十画		第7期			

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	-11	活動指標 1 (単位/)	計画値														
	指標	成果指標 1	実績値 計画値	100	100	100		100	100	100		100	100	100	100		
		(単位/%)	実績値	100	100	100		100									
		事業の達成度 (活動指標をも					達成されている										
		事業の成果 (成果指標をも	らとに評価)				変わらない										
		事業の効率性(事業費に対す					変わらない										
		総合評価					良好である										
				国が進めている 経営所得安定対 策を円滑に進め	国が進めている 経営所得安定対 策を円滑に進め	経営所得安定対 策を円滑に進め	判断理由: 経営所得安定対 策の円滑な事務 処理が行われた ため良好と判断 した。	経営所得安定対 策を円滑に進め	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
事	評																
務	価内																
323	容 総合評価の判 理由または指 の実績値に関																
事	理由または指																
業	の実績値に関す																
評																	
価																	
		今後の方向性					現状のまま継続										
	今後の方向性 方向性の判断理由 改善、改革の内容			R5: 経営所得安定対策 する事業と考える		務作業のために必	要であり、継続	R8 :				R10 :					
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)																

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

[PLAN]

事務事業の目的と成果

	総合戦略掲載	0	過疎計画掲載	×
--	--------	---	--------	---

事 業 名	農業6次産業	化支援事業			事業期間	平成	24年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-4	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施する のか)	農業者による農業 により農業経営の 与する。	ἔ及び関連事業の Ͻ複合化・多角化	総合化を促進する を図ること(6次	ため、農業者が原産業化)に対しる	・ 農産物の生産・加工 支援することで、農	・販売を一体 農業経営の改善	的に行う取り組み を図り活性化に寄	手段 (どのような方法で 実現するのか)	情報提供及び国権	などの補助事業の	活用の協議			
対象 (誰・何を対象として いるのか)	実現するのか													加価値を農業経営の中に取り込む
事業開始時の状況緯	い。これよりの柱	設した。市におり	いても国の支援制	度等を活用しなか	『業の創出等及び地 『ら、6次産業化に』 『わないことから取	資する整備事業	を実施する農業法.	る法律」(六次産 人等に対し支援をす	業化法)を平成2 することで、農業	3年3月1日に施行 経営の改善、活性	し、農林水産業の E化に寄与する目的)振興に向けた6次 的で取組みを進め	産業化を図ろうと る。平成23年度に	する農業法人等への補助事業を創 市内法人より相談があり平成24年

[DO]

実績

		第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
国 費 計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
道 費 計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
地 方 債 計 画 額				0				0					0	0
投予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
入その他計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
美 積 額				0				0					0	0
れ一般財源計画額				0				0					0	0
予算計上額 宝 縛 類				0				0					0	0
大帆帜				0				0					0	0
事業費合計 計 画 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予算計上額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業 実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費														
事業費予算の														
の内容														
144														
推														
移														
前年度予算との比較														
(増減理由)														
								1					1	
実練しの比較														
実績との比較 (増減理由)														

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:	_		指標の求め方:流	舌動指標の設定が	困難であることか	いら設定しない							
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:連携取約	且数		指標の求め方:目	目標値の設定が困	難なため実績値の)管理とする							
		第 1 次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	一		第 7 期
	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
活動指標 1 計画値														

				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		活動指標 1		(0牛皮)	(4年度)	(0千反)		(0+12)	(7年度)	(0年度)		(3年度)	(10年度)	(日午及)	(12年度)		
	指標	(単位/ 成果指標 1	X1X1E														
		(単位/	実績値	0	0	0		0									
		事業の達成 (活動指標	戈度 をもとに評価)				達成されていない										
		事業の成果	ともとに評価)				上がっていない										
		事業の効率	区性				変わらない										
			対する成果)				問題がある										
		総合評価		自己分析:	自己分析:	自己分析:	同趣かめる	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
事務事業評価	事 評価内容 総合評価の判指標の実施には関する自己分析			人等の申請がな かったため、成 果指標は0と	人等の申請がな かったため、成	人等の申請がな かったため、成 果指標は0と	国取難いが 動いに請らした は は り と と る と し こ と る と し に お の に お り れ と し こ と る ら し た ら し た ら し た ら し た ら し た ら し た ら し た ら し た ら し た う と う と う と う と う と う と う と う と う と う	人等の申請がな かったため、成 果指標は0と									
		会後の方向	5.4生				手段の見直し										
		フルの万円		R5 :				R8 :				R10 :					
	改善	性の判断理 、改革の内 、R8、R10)	由容	平成23年末に6次 活用し、農業経営 めている。事業4	経営の複合化・	域の活性化を図る いなど、6次産業1	化支援制度等を 目的で事業を進 比への取り組みが										

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	乳牛検定助成	事業			事業期間	昭和	50年度 ~	— 年度				•	<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-4	他に関連する 基本事業			 		所管課係	農政課農政係
	砂川市の畜産振り 産農家の負担を 車			支部が実施して	- いる同事業に係る費	門の一部を補	助することで、	手段 (どのような方法で 実現するのか)	中空知乳牛検定費用の一部を助	月で実施する乳牛	-検定事業(牛群智	管理、搾乳量、乳	成分、体細胞、繁殖管理)に係る
対象 (誰・何を対象として いるのか)	中空知乳牛検定約	祖合砂川支部						成果 (どのような効果が 得られるのか)	乳牛検定を支援 と収入の確保が	体改良を積極的に	-推進し、乳牛1頭	頁当たりの搾乳量	を増やすことで安定した生乳生産
事業開始時の状況緯	・これまでの経	酪農経営の安定化 行政改革により ³	化と畜産振興を図 平成17年度から100	ることを目的に 1,000円を75,000	事業が開始された。 円に、また、平成2	0年度からは、	さらに10%削減	(△7,000円) した。					

[DO]

実績

			第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
		第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
国 費 語	計画額				0				0					0	0
	予算計上額				0				0					0	0
	実績額				0				0					0	0
	計画額				0				0					0	0
	予算計上額				0				0					0	0
	実績額				0				0					0	0
	計画額				0				0					0	0
1X	予算計上額				0				0					0	0
	実績額				0				0					0	0
入その他言	計画額				0				0					0	0
7	予算計上額				0				0					0	0
9	実績額				0				0					0	0
れ一般財源	計画額	68, 000	68, 000		204, 000	68, 000	,	68, 000		68, 000	68, 000	68, 000	68, 000	272, 000	680, 000
4	予算計上額	68, 000	68, 000	68, 000	204, 000	68, 000	68, 000		136, 000					0	340, 000
	実績額	68, 000	68, 000	68, 000	204, 000	68, 000			68, 000					0	272, 000
*	計画額	68, 000	68, 000	68, 000	204, 000	68, 000	68, 000	68, 000	204, 000	68, 000	68, 000	68, 000	68, 000	272, 000	680, 000
and the second s	予算計上額	68, 000	68, 000	68, 000	204, 000	68, 000	68, 000	0	136, 000	0	0	0	0	0	340, 000
業	実績額	68, 000	68, 000	68, 000	204, 000	68, 000	0	0	68, 000	0	0	0	0	0	272, 000
費	7	補助金 68千円	補助金 68千円	補助金 68千円		補助金 68千円	補助金 68千円								
事業費予算の															
の内容															
+#															
推		前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額								
移业工工工工		削牛及问領	削平及问領	削平及问領		削平及问領	削干及问额								
前年度予算と の比較															
(増減理由)															
		同額	同額	同額		同額									
実績との比較															
(増減理由)															
						ll									

1817	いりまれ	9 · 81111111															
活動	指標 1	(「手段	() をもとに設定)	指標名:受検頭数	数比率		指標の求め方:	当該年度受検頭数	/令和3年度受検	頭数(1,528頭)	※令和3年度に	は令和元年度受検頭	質数(1,465頭)と	比較			
成果	指標 1	(「成果	」をもとに設定)	指標名:乳量増加	加率		指標の求め方:(当	該年度総乳量/当該	6年度飼養頭数) / (令和3年度総乳量((1,958t) /令和3年	度飼養頭数 (351頭))×100 ※令和3年	度は(令和元年度終	8乳量(1,312t)/令	和元年度飼養頭数(287頭))と比較
					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年記	十画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指		110	110	110		110	L	110		110	110	110	110		
	指	(単位,	入根間					98									
	標	成果指	7	}		{		100	100	100		100	100	100	100		
		(単位)	, 74X III	122	131	141		130									
		事業の:	^{達风度} 旨標をもとに評価)				達成されている										
		事業の (成果指	成果 f標をもとに評価)				少し上がっている										
							少し上がっている										
							良好である										
事務事業評価	事 評価内容 容 総合評価の判断 理理無値に関す る自己分析		の乳量が維持階級をおき、受けるの乳での変化が、質ができた。	の乳量が維持されており、酪農 家の経費負担軽 減となることか	の乳量が維持されており、酪農 家の経費負担軽 減となることか	判 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明	の乳量が維持さ れており、酪農 家の経費負担軽	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:		
		今後の	 方向性				現状のまま継続										
		1		R5 :			3.5.1.5.5.4.496	R8 :				R10 :				II.	
	改善、	性の判断 、改革の 、R8、R1	内容	乳牛検定を支援(やすことで安定)	は個体改良を推進 した生乳生産と収 いても継続する事	入の確保につなが											

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	優良種雄牛精	液購入費助成	事業		事業期間	昭和4	5年度 ~	年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-4	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	乳用種雄牛評価成 の生産性の高い乳	战績により選定した ↓牛を確保するとん	た種雄牛の精液購, ともに、経営の安?	入費の一部を助り 定向上につなげ	- 或することで、畜産 ている。	農家の経費負	担を軽減し、生乳	手段 (どのような方法で 実現するのか)	新砂川酪農振興会	会への優良な種雄	牛の精液を購入す	る費用の一部を助	加成する。	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	新砂川酪農振興会	★ (市内酪農家)						成果 (どのような効果が 得られるのか)	生乳生産性の高い	ハ乳牛が確保でき	ა .			
事業開始時の状況緯	・これまでの経	酪農経営の安定化 行政改革によりP	ヒと畜産振興を図る 平成17年度から300	うことを目的に引 , 000円を150, 00	『業が開始された。 0円に、また、平成	20年度からは、	、さらに10%削減	(ム15,000円) する	ことになっている	5.				

[DO]

実績

						第1次実施	13 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
					第1年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費	計画	額				0				0					0	0
			予算計	上額				0				0					0	0
			実 績	額				0				0					0	0
	道	費	計画	額				0				0					0	0
			予算計	上額				0				0					0	0
			実 績	額				0				0					0	0
	地	方 債	計画	額				0				0					0	0
投			予算計	上額				0				0					0	0
			実 績	額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画	i額				0				0					0	0
± ≥			予算計					0				0					0	0
			実 績					0				0					0	0
れ	- #	段 財源	計画	i額	135, 00	0 135, 000	135, 000	405, 000	135, 000	,	135, 000		135, 000	135, 000	135, 000	135, 000	540, 000	1, 350, 000
_			予算計	上額	135, 00	0 135, 000	135, 000	405, 000	135, 000	,		270, 000					0	675, 000
た			実 績		135, 00	0 135, 000	135, 000	405, 000	135, 000			135, 000					0	540, 000
事	事 業	美費 合計	計画	i 額	135, 00	0 135, 000	135, 000	405, 000	135, 000	135, 000	135, 000	405, 000	135, 000	135, 000	135, 000	135, 000	540, 000	1, 350, 000
			予算計		135, 00	0 135, 000	135, 000	405, 000	135, 000	135, 000	0	270, 000	0	0	0	0	0	675, 000
業			実 績		135, 00			405, 000	135, 000		0	135, 000	0	0	0	0	0	540, 000
費					補助金 135千	補助金 135千	補助金 135千		補助金 135千	補助金 135千								
, ,		費予算の			H	let	H		P1	H								
の	尹木	内容																
144																		
推	-				前年度と同額	前年度と同額	前年度と同額		前年度と同額									
移	J., _				削牛及と问領	削平及と问領	削平及と问領		削牛及と问領	削牛及と问領								
	前年	度予算と D比較																
		減理由)																
					同額	同額	同額		同額									
	中结	との比較																
	(増	減理由)																
						l	l		l									

	Mr. and JE.	・ 評価																
活	動指標	1 (「手段」	をもとに設定))	指標名:精液購 <i>〕</i>	入比率		指標の求め方:当	当該年度精液購入	数/令和元年度精	液購入数(150本)						
成	果指標	1 (「成果」	をもとに設定))	指標名:乳量増加	11率		指標の求め方: (当	該年度総乳量/当該	年度飼養頭数) / (令和3年度総乳量(1,958t) /令和3年	度飼養頭数 (351頭))×100 ※令和3年	E度は(令和元年度総	:乳量(1,312t)/令	和元年度飼養頭数(287頭))と比較
						第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画合計
		T	. ! =1:	T: /+	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	
	+15	活動指標 (単位/%		画値 績値	100 149	{	100 236		228	100	100		100	100	100	100		
	指標	成果指標	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		100				100	100	100		100	100	100	100		
		(単位/%		一 績値	122	{	141		130									
		事業の達成	成度 票をもとに評	T/#)				達成されている										
		事業の成績	果					少し上がっている										
		(成果指標事業の効率	票をもとに評	平価)														
		(事業費に	に対する成果	₹)				変わらない										
		総合評価			53 N.E	4705	47.VE	良好である	47.7 5	4705	A 7 0 K	stot Net TER -L-	57.VE	43.VK	53.0£	57.VE	Not be TO -	
事務事業訊価	評価内容	1 D	総合評価のは 理由実績値に る自己分析	判指	の乳量が維持さ れており、酪農 家の経費負担軽	の乳量が維持されており、酪農 家の経費負担軽 減となることか	の乳量が維持されており、酪農 家の経費負担軽 減となることか	判受さ当ほお経つたし 生料 日本	の乳量が維持されており、 れており負担を 家の経費員とと 減となること ら有効と考え	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方	向性					現状のまま継続										
	改善	性の判断理:、改革の内 、R8、R10)	容		R5: 当該事業により乳 い乳牛の確保になる る事業と考える。	つながっていると	■ 乳量も維持され、 判断でき、今後に	生乳生産性の高おいても継続す	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	家畜診療助成	事業			事業期間	平成	13年度 ~ -	- 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-4	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
	北海道農業共済組 しつつ適切な家畜			重営経費の一部 🤄	- を負担することによ	り、畜産農家	の事業負担を軽減	手段 (どのような方法で 実現するのか)	北海道中央農業共	共済組合が実施す	る家畜診療事業の)運営費の一部を関	関係市町と連携を[図り補助する。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	北海道農業共済組	1合						成果 (どのような効果が 得られるのか)	畜産農家の家畜	診療事業に対する:	負担の軽減が図ら	っれ、適正な家畜 <i>0</i>)受診機会が確保	できる。
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	各市町村が行って	ていた水稲、果樹等	に対する被害乳	8生時における共済	事業が広域化	され、中空知農業共	済組合に統合・合	併した際に家畜語	沴療部門も引き継쳐	がれ、これに伴う	運営経費として負	i担していくことに	こなった。

[DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第3次実施4力年計画					
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	第 7 期 総合計画 合 計	
	国	費	計画額				0				0					0	0	
			予算計上額				0				0					0	0	
			実 績 額				0				0					0	0	
	道	費	計画額				0				0					0	0	
			予算計上額				0				0					0	0	
			実 績 額				0				0					0	0	
	地	方 債					0				0					0	0	
投			予算計上額				0				0					0	0	
_			実績額				0				0					0	0	
入	そ	の他	計画額				0				0					0	0	
₹			予算計上額				0				0					0	0	
			実 績 額				0				0					0	0	
れ	— 角	と 財源		270, 000	,		810, 000	270, 000	,	270, 000		270, 000	270, 000	270, 000	270, 000	1, 080, 000	2, 700, 000	
<i>t</i> =			予算計上額	270, 000	270, 000	270, 000	810, 000	270, 000	,		540, 000					0	1, 350, 000	
12			実績額	270, 000	270, 000	270, 000	810, 000	270, 000			270, 000					0	1, 080, 000	
事	事業	費合計		270, 000	270, 000	270, 000	810, 000	270, 000	=11,111	270, 000	810, 000	270, 000	270, 000	270, 000	270, 000	1, 080, 000	2, 700, 000	
****			予算計上額	270, 000	270, 000	270, 000	810, 000	270, 000	270, 000	0	540, 000	0	0	0	0	0	1, 350, 000	
業			実績額	270, 000	270, 000	270, 000	810, 000	270, 000	0	0	270, 000	0	0	0	0	0	1, 080, 000	
費の	事業	費予算の 内容		補助金 270千 円	補助金 270千 円	補助金 270千 円		補助金 270千 円	補助金 270千 円									
推	_			前年度と同額	前年度と同額	前年度と同額		前年度と同額	前年度と同額									
移	σ,	度予算と D比較 減理由)																
	実績(増	との比較 減理由)		同額	同額	同額		同額										

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名: —	指標の求め方:※活動・成果指標に結びつかないため指標をなしとする。
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名: —	指標の求め方:※活動・成果指標に結びつかないため指標をなしとする。

					第1次実施	[3カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年記	計画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画合計
			計画値	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	
	指	活動指標 1 (単位/)	実績値										 	 			
	標	成果指標 1	計画値														
		(単位/)	実績値														
		事業の達成が															
		事業の成果	きもとに評価)														
			きもとに評価)														
		事業の効率															
		(事業費に対 総合評価	可する成果)				普通である										
		松百計Ⅲ		自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
				近隣市町と連携	近隣市町と連携	近隣市町と連携	近隣市町と連携	近隣市町と連携	1 L J M .	L B 23 1/1 .	13周空田:	1 1 2 3 W	1 1 2 3 W	1 1 2 3 W	L 23 1/1 :	136141	
				を凶り、中空知 農業共済組合が	を凶り、中空知 農業共済組合が	を図り、中空知 農業共済組合が	を凶り、中空知 農業共済組合が	を凶り、中空知 農業共済組合が									
				実施する家畜診	実施する家畜診	農業共済組合が実施する家畜診	実施する家畜診	実施する家畜診									
				療事業を支援す ることにより、	寮事業を文援す ることにより、	療事業を支援することにより.	療事業を文援す ることにより、	寮事業を文援す ることにより.									
				畜産農家の経費	畜産農家の経費	ることにより、 畜産農家の経費	畜産農家の経費	畜産農家の経費									
事	評			貝担の軽減が凶 られ経営の安定	^{負担の} 軽減が凶 られ経営の安定	負担の軽減が図 られ経営の安定	貝担の軽減が凶 られていると考	負担の軽減が凶 られ経営の安定									
	価			に資することか	に資することか	に資することか	える。	に資することか									
務	内			ら有効と考え る。	ら有効と考え る。	ら有効と考え る。		ら有効と考え る。									
	容		合評価の判断														
事		埋りの乳	由または指標 実績値に関す														
			自己分析														
業																	
評																	
価																	
		今後の方向	性				現状のまま継続										
				R5: 当該事業により通	商正な家畜の受診	機会が確保でき、	畜産農家の経費	R8 :				R10 :					
				負担の軽減が図ら	られ経営の安定に [・]	つながっていると	判断でき、今後										
				においても継続す	トる事業と考える。							1					
												1					
	方向性	性の判断理由 改革の内容	3														
	(R5、	成単の内容 R8、R10)	f														

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	有害鳥獸駆除	等委託事業			事業期間	_	年度 ~ —	年度				•	ı	
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-5	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	鳥獣から農地を守	するとともに、農	業被害の軽減を図る	5.				手段 (どのような方法で 実現するのか)	猟友会砂川支部码	沙川部会に委託し	、農地等における	鳥獣を銃器や箱れ	っな等により捕獲、	駆除を実施する。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内の農地等に出	出没するカラス、	シカ、アライグマ、	キツネ等の有	書鳥獣			成果 (どのような効果が 得られるのか)	農業者の営農意名	欧の向上や農作物 [:]	被害の解消又は軽	滅が図れる。		
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	鳥獣による生活 平成11年度より事	環境、農作物等に係 事務の合理化を図り	る被害の拡大限 契約を一本化し	5止や軽減を目的と ノ、有害鳥獣駆除事	して、猟友会/ 業は農政課で§	に捕獲駆除を委託し 実施している。	ている。						

[DO]

実績

			第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
		第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
国 費 計	画額				0				0					0	0
予算	算計上額				0				0					0	0
	績 額				0				0					0	0
	画額				0				0					0	0
	章計上額				0				0					0	0
	績 額				0				0					0	0
	画額				0				0					0	0
1X	章計上額				0				0					0	0
	績 額				0				0					0	0
4 · · · ·	画額				0				0					0	0
Z	算計上額				0				0					0	0
実 実	績 額				0				0					0	0
1.5 1.7 1.7	画額	786, 000	786, 000	786, 000	2, 358, 000	786, 000	786, 000	786, 000		786, 000	786, 000	786, 000	786, 000	3, 144, 000	7, 860, 000
4	章計上額	786, 000	786, 000	786, 000	2, 358, 000	786, 000	786, 000		1, 572, 000					0	3, 930, 000
	績 額	786, 000	786, 000	786, 000	2, 358, 000	786, 000			786, 000					0	3, 144, 000
7	画額	786, 000	786, 000	786, 000	2, 358, 000	786, 000	786, 000	786, 000	2, 358, 000	786, 000	786, 000	786, 000	786, 000	3, 144, 000	7, 860, 000
	章計上額	786, 000	786, 000	786, 000	2, 358, 000	786, 000	786, 000	0	1, 572, 000	0	0	0	0	0	3, 930, 000
業実	績 額	786, 000	786, 000	786, 000	2, 358, 000	786, 000	0	0	786, 000	0	0	0	0	0	3, 144, 000
費	3	委託料 786千	委託料 786千	委託料 786千		委託料 786千	委託料 786千								
事業費予算の		,	П	П			П								
の内容内容															
推															
1E	台	前年度と同額	前年度と同額	前年度と同額		前年度と同額	前年度と同額								
移前在中区等人	н	同年及と同僚	削牛及こ内領	削牛及と同僚		別千及と同級	削牛及こ内領								
前年度予算と の比較															
(増減理由)															
	F	司額	同額	同額		同額									
実績との比較															
(増減理由)															
						1			ıl	l.					

							To										
_		(「手段」をもと			獣(エゾシカ) の馴		指標の求め方:コ										
成果	指標 1	(「成果」をもと	:に設定)	指標名:有害鳥	獣による農業被害	率	指標の求め方:≒	当該年度農業被害	額/令和3年度の	農業被害額(4,8	861千円)×100	※令和3年度は令	和元年度の農業被	害額(5,711千円)と比較		
					第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	一画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標 1	計画値	100	100	100		100	100	100		100	100	100	100		
	指	(単位/%)	実績値	70	64	100		103									
	標	成果指標 1	計画値	95	. 4	l		90	90	90)	85	85	85	85		
		(単位/%)	実績値	85	39	161		103									
		事業の達成度					あまり達成されていない										
		(活動指標をも	とに評価)														
		事業の成果 (成果指標をも	. とに証価)				上がっている										
		事業の効率性															
		事業の効率性(事業費に対す					少し上がっている				I						
		総合評価					良好である										
		,,,, ,,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,,		自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
				当該事業は、銃	当該事業は、銃	当該事業は、銃	作物の生育状況	当該事業は、銃								1741-14	
				器使用ができる	器使用ができる	器使用ができる	や気象により有	器使用ができる									
				地元猟及芸に安	地元猟及芸に安	地元猟及芸に安	害鳥獣の発生状 況等は不確定要	地元猟及云に安									
				番効果的であ	番効果的であ	番効果的であ	素であるが、前	番効果的であ									
				る。当該委託と	る。当該委託と	る。当該委託と		る。当該委託と									
-				国の緊急補獲事業と組み合わせ	国の緊急捕獲事業と組み合わせ	国の緊急捕獲事業と組み合わせ	額は減少してい るため良好と判	国の緊急捕獲事業と組み合わせ									
事	評				て駆除は実施さ			て駆除は実施さ									
	価			れているが、予	れているが、予	れているが、予		れているが、予									
務	内				算の範囲で駆除			算の範囲で駆除									
	容	w A:	可用の判断	しても、局獣は	しても、鳥獣は 大きく減少して	しても、局獣は		しても、鳥獣は 大きく減少して									
_		理由	計画の判断または指標	いない。また、	いない。また、銃器による駆除	いない。また、		いない。また、									
事		の実	績値に関す	銃器による駆除	銃器による駆除	銃器による駆除		銃器による駆除									
		る自i	3分析		ができない箇所 での被害報告も	ができない箇所		ができない箇所 での被害報告も									
業					寄せられている			寄せられている									
				ので、対策を講	ので、対策を講	ので、対策を講		ので、対策を講									
===				じる必要があ		じる必要があ		じる必要があ									
評				る。	る。	る。		る。									
価																	
											1					 	
		今後の方向性					現状のまま継続										
				R5: 生態 変の頂点でき	セスト目が中学ナ	町除したけんぱ	- 年に掛かり ウ	R8 :				R10 :					
					ある人間が鹿等を を及ぼし、農業林												
				が懸念される。対	対策として、銃器	使用ができる地元	猟友会に委託す										
				ることが一番効果	果的であり、捕獲	・駆除数、被害面	i積はともに効果										
	Ι				ことから継続する 員で対応するのは												
		生の判断理由 改革の内容			考えていく必要が												
	(R5.	以単の内容 R8、R10)															

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	有害鳥獸対策	連絡協議会支	泛援事業		事業期間	平成	24年度 ~ -	- 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-5	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
	有害鳥獣対策連絡被害の軽減を図る		ることにより、地	域住民の生活環境	- 竟保全及び安全確係	呆ならびに鳥獣	から農地を守り、	手段 (どのような方法で 実現するのか)	有害鳥獣対策連絡	絡協議会に対し、	事業に係る経費の	一部を補助する。		
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川市、奈井江町 改良普及センタ-	可、新砂川農業協 一、農業者の代表	同組合、そらち森 で構成する有害鳥	林組合、北海道 獣対策連絡協議:	鼡友会砂川支部、研 会	少川警察署、農	業共済組合、農業	成果 (どのような効果が 得られるのか)	円滑に事業が実施	施されるとともに	、農作物被害等の	解消又は軽減が図	□られる 。	
事業開始時の状況 緯	・これまでの経													

[DO]

実績

		第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
	第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
国 費 計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
道 費 計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
地 方 債 計 画 額				0				0					0	0
投予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
入その他計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実 績 額				0				0					0	0
れ 一般財源 計画額	28, 000			84, 000	21, 000	,	21, 000		21, 000	21, 000	21, 000	21, 000	84, 000	231, 000
予算計上額	28, 000			83, 000	21, 000	,		43, 000					0	126, 000
ま 績 額	1, 925	770	1, 430	4, 125	15, 825			15, 825					0	19, 950
事業費合計 計 画 額	28, 000	28, 000	28, 000	84, 000	21, 000	21, 000	21, 000	63, 000	21, 000	21, 000	21, 000	21, 000	84, 000	231, 000
予算計上額	28, 000	28, 000	27, 000	83, 000	21, 000	22, 000	0	43, 000	0	0	0	0	0	126, 000
業 実績額	1, 925	770	1, 430	4, 125	15, 825	0	0	15, 825	0	0	0	0	0	19, 950
費	補助金 28千円	補助金 28千円	補助金 27千円		補助金 21千円	補助金 22千円								
事業費予算の														
の内容														
1//-														
推	前左座し日短	前左座に日類	手数料補助件数		工类拟法的从类	冷器多数多供 建								
移	前年度と同額		子剱科補助件剱 の見直しにより		手数料補助件数 の見直しにより									
前年度予算との比較			減			額により								
(増減理由)														
(1,2,2,2,														
		狩猟免許試験予	狩猟免許試験予		手数料の件数が									
実績との比較	備講習受講者が	備講習受講者が	備講習受講者が		少なかったため									
美々との比較 (増減理由)	減少したため	いなかったため	いなかったため											
\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \														
					I									

11	(保の)	生砂	・評価														
汩	動指	票 1	(「手段」をもとに設定)	指標名:有害鳥	獣(エゾシカ) の	駆除率	指標の求め方:コ	□ゾシカ駆除頭数	/エゾシカ駆除体	頼頭数×100							
成	果指	票 1	(「成果」をもとに設定)	指標名:有害鳥	獣による農業被害	率	指標の求め方:	当該年度農業被害	額/令和3年度の	農業被害額(4,8	861千円)×100	※令和3年度は令	和元年度の農業被	害額(5,711千円	引)と比較		
Ē					第1次実施	103カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年	計画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
			舌動指標 1 計画	}	{			100	100	100)	100	100	100	0 100		
	1 1	TE .	(単位/%) 実績 成里指標 1 計画					103	90	90		85	85	8!	5 85		
	1	* F	成果指標 1 計画 (単位/%) 実績		{			103	90	90		80	85	88	5		
		leil	事業の達成度			101											
			活動指標をもとに評価	E)			あまり達成されていない										
			事業の成果 (成果指標をもとに評値	<u>fi</u>)			上がっている										
			事業の効率性 (事業費に対する成果)				少し上がっている										
		-	学来負に対する成本/ 総合評価				普通である										
				自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
				協議会予算の 内、国費が2分	協議会予算の 内、国費が2分	協議会予算の 内 国費が2分	当該補助の主な対象は、狩猟免										
				の1の事業を当	の1の事業を当	の1の事業を当	許取得に係る費	の1の事業を当									
					市事業分を補助 するものと対象												
	±			であることか 協議会の運	外の振込手数料である である はは不可欠の ははないである。 はないである。 がある。 がある。 はないである。 はないである。 はないである。	であることか 協議会の運	ら、普通と判断	であることか ら、協議会の運									
1	事			営には不可欠で	営には不可欠で	営には不可欠で	0720	営には不可欠で									
	í	E		ある。なお、国] ある。なお、国 費が2分の1の事	ある。なお、国		ある。なお、国 費が2分の1の事									
1	答 □ F			業は、狩猟免許	業は、狩猟免許	業は、狩猟免許		業は、狩猟免許									
	1	3	総合評価の判	断 取得のための予 標 備講習料の補助	取得のための予	取得のための予		取得のための予 備講習料の補助									
4	事		理田または指の実績値に関	す┃で、狩猟免許取	≀┃で、狩猟免許取	で、狩猟免許取		で、狩猟免許取									
			る自己分析		得者を確保する ためには必要で			得者を確保する ためには必要で									
1	業			ある。	ある。	ある。		ある。									
1	评																
1	西																
		1	 今後の方向性				現状のまま継続										
				R5:	+=====================================	O+ 41- 51111-	- L * + '- m * -	R8 :				R10 :			•	•	
					有害鳥獣被害防止 置して対応してい												
				許所持者であり	、その確保が必要	である。また、免	許所持者の高齢										
				化により担い手	-の減少に歯止めを 『である。	かけるため、新規	祝田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田										
	方	向性	の判断理由														
	改	善、	改革の内容														
	(K5.	R8、R10)														

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	狩猟免許取得	助成事業			事業期間	平成	24年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-5	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
目的(何のために実施するのか)	ハンターの担い	手を育成するとと	もに、有害鳥獣の	駆除により農作	物等の被害防止の仮	産進を図る。		手段 (どのような方法で 実現するのか)	狩猟免許を新たに	こ取得した者に対	し、試験手数料を	-補助する。		
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内に住所を有り	し市税の滞納がな	く、狩猟免許を新	たに取得する者。				成果 (どのような効果が 得られるのか)	有害鳥獣を銃器や は軽減が図れる。	や箱わな等により	捕獲、駆除が実施	Eされることにより)、農業者の営農派	意欲の向上や農作物被害の解消又
事業開始時の状況 緯	!・これまでの経													

[DO]

実績

第7期総合計画

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地 方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
入	その他	計画額				0				0					0	0
ŧ		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
れ	一般財源		37, 000	37, 000		,	16, 000	10,000	16, 000	48, 000	16, 000	16, 000	16, 000	16, 000	64, 000	223, 000
+-		予算計上額	37, 000	42, 000	42, 000	121, 000	16, 000	,		32, 000					0	153, 000
た		実績額	0	0	0	0	31, 200			31, 200					0	31, 200
事	事業費合計		37, 000	37, 000	37, 000	111, 000	16, 000	,	16, 000	48, 000	16, 000	16, 000	16, 000	16, 000	64, 000	223, 000
		予算計上額	37, 000	42, 000	42, 000	121, 000	16, 000	,	0	32, 000	0	0	0	0	0	153, 000
業		実 績 額	0	0	0	0	31, 200		0	31, 200	0	0	0	0	0	31, 200
費			補助金 37千円	補助金 42千円	補助金 42千円		補助金 16千円	補助金 16千円								
,	事業費予算の															
の	内容															
推																
7胜			前年度と同額	対象者の増	前年度と同額		狩猟免許取得予	前午府と同額								
移	* 		削牛及と同僚	対象省の増	削牛皮と同僚		定見込者の減に	別千及と同僚								
	前年度予算と の比較						よる減額									
	(増減理由)															
			狩猟免許取得希	狩猟免許取得希	狩猟免許取得希		狩猟免許取得件									
	実績との比較		望者がいなかっ				数が計画より多 かったため									
	(増減理由)		たため	たため	たため		かってにめ									
					1		1									

相	果の推	多・評価															
活動	動指標	1 (「手段」をもと	に設定)	指標名:狩猟免	許取得者数		指標の求め方: 犭	守猟免許取得者数	t								
成	果指標	1 (「成果」をもと	に設定)	指標名:狩猟免	許新規取得者率		指標の求め方:今	合和3年度以降符	·猟免許取得者数/	/当該年度 北海	道猟友会砂川支部	砂川部会会員数×	100				
					第1次実施	3 カ年計画	-		第2次実施	も3カ年計画			第	3次実施4カ年記	十画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	+±	活動指標 1 (単位/人)	計画値実績値	7	7	7		7		7	7	7	7	7	7	7	
	指標	成果指標 1	計画値	15		15		5	; ;	5 5	5	5	5 5	5	5	5	
		(単位/%)	実績値	0	g	9		21									
		事業の達成度 (活動指標をも	とに評価)				あまり達成されていない										
		事業の成果 (成果指標をも	とに評価)				変わらない										
		事業の効率性 (事業費に対す	る成果)				変わらない										
		総合評価					普通である										
事務事業評価	評価内容	理由ま	F価の判断 たたは指標 を値に関す 分析	増りする場合では、おいては、おいては、おいては、おいては、おいては、おいては、おいては、ないでは、おいては、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないで	するためには、オの協力が年の協力が不度なが、農なが、農なが、農なが、農なが、農につめ、から、	増加傾向にあ り、適正に駆 するためには 狩猟免許不可 の協力が不可 欠。本年度は対	い、当ない。当該、当該、主要等許加現大を増加のでは、一個では、大きのでは、ままでは、たらでは、たらでは、たらでは、たらでは、たらでは、たらでは、たらでは、たら	増加傾向にあ り、適正に駆 するためには 狩猟免許不時 の協力が不可 欠。農作物被害	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性					現状のまま継続										
	改善	性の判断理由 、改革の内容 、R8、R10)		が必要である。 減少に伴い、歯」	しかし、免許所持 止めをかけるため	のためにも、免許者が高齢化である 者が高齢化である 、新規免許取得者 、活動の活発化のた	事から担い手の 背を増やすことに	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	多面機能支払	交付金事業			事業期間	平成1	9年度 ~	令和5年度]			•		
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-5	他に関連す 基本事業	る					所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	農業・農村の有る理を推進すること	る多面的機能のことにより、農業・	維持・発揮を図る 農村の有する多面	ための地域の共 的機能が今後と	- 司活動に係る支援を も適切に維持・発揮	そ行い、地域資源 でいるように	源の適切な保全 する。	手段 (どのような方法で 実現するのか)	あらかじめ作成	した活動計画に基	づき実施した活動	かに対してその費用	月を支援する。	
対象 (誰・何を対象として いるのか)			約などを整備し、 地、豊沼、焼山、		道の協議会の採択を ・鶉)	そ受けた活動組織	織を対象とする			設の適正な維持管 の解消が図られる		(生態系や景観)等	等の保全が図られ	るとともに、生産性の高い農業の
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	平成19年度から ³ 平成24年度からに	平成23年度まで5st は第2期対策の初st	∓間、7集落で∛ ∓度を迎えたが、	『業が実施された。 交付金単価の減額	と中山間地域等	<u>等直接支払交</u> 付	金事業の対象農用地技	太大により、活動さ	を実施する集落が	4 集落に減少した			

[DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額	12, 806, 000	12, 806, 000	12, 806, 000	38, 418, 000	15, 191, 000	15, 191, 000	15, 191, 000	45, 573, 000	15, 191, 000	15, 191, 000	15, 191, 000	15, 191, 000	60, 764, 000	144, 755, 000
			予算計上額	12, 927, 000	13, 015, 000	15, 191, 000	41, 133, 000	15, 191, 000	14, 975, 000		30, 166, 000					0	71, 299, 000
			実 績 額	12, 919, 571	13, 018, 026	15, 191, 803	41, 129, 400	14, 616, 431			14, 616, 431					0	55, 745, 831
	地	方 債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
_			実 績 額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額				0				0					0	0
₹			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
れ	— A	段 財 源	計画額	4, 270, 000	4, 270, 000		12, 810, 000	5, 025, 000	-,,	5, 025, 000	15, 075, 000	5, 025, 000	5, 025, 000	5, 025, 000	5, 025, 000	20, 100, 000	47, 985, 000
<i>t</i> =			予算計上額	4, 269, 000	4, 300, 000	5, 025, 000	13, 594, 000	5, 025, 000	4, 952, 000		9, 977, 000					0	23, 571, 000
/-			実績額	4, 276, 429	4, 299, 346	5, 023, 939	13, 599, 714	4, 832, 145			4, 832, 145					0	18, 431, 859
事	事業	費合計	計画額	17, 076, 000	17, 076, 000	17, 076, 000	51, 228, 000	20, 216, 000	20, 216, 000	20, 216, 000	60, 648, 000	20, 216, 000	20, 216, 000	20, 216, 000	20, 216, 000	80, 864, 000	192, 740, 000
			予算計上額	17, 196, 000	17, 315, 000	20, 216, 000	54, 727, 000	20, 216, 000	19, 927, 000	0	40, 143, 000	0	0	0	0	0	94, 870, 000
業			実 績 額	17, 196, 000	17, 317, 372	20, 215, 742	54, 729, 114	19, 448, 576	0	0	19, 448, 576	0	0	0	0	0	74, 177, 690
費の推		費予算の 内容		旅費 20千円 需用費 83千円 役務費 10千円 使用料 7千円 交付金 17,076千円	役務費 10千円 使用料 7千円	旅費 20千円 需用費 82千円 役務費 10千円 使用料 8千円 交付金 20,096千円		需用費 82千円 役務費 10千円 使用料 8千円	旅費 20千円 需用費 82千円 役務費 10千円 使用料 8千円 交付金 19,807千円								
移	σ,	度予算と)比較 減理由)		対象農地の増	対象農地の増	対象農地の増		同額	対象農地の減								
	実績(増	との比較 減理由)		対象農地の減	対象農地の増	執行残		対象農地の減及 び加算措置の廃 止									

指	標の推	移・評価	T														
活	動指標	1 (「手段	没」をもとに設定)	指標名:事業費								3 年度は令和元年度	E交付額(16, 644 -	千円)×100と比輔	較		
成	果指標	1 (「成身	果」をもとに設定)	指標名:対象農			指標の求め方:	当該年度交付対象	面積/当該年度全	耕地面積(作物網	統計調査) ×100						
				Arte o be a be		3 力年計画		Mr. a. br. vie		3 力年計画				3次実施4力年記		I	第7期
				第1年次(3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次(6年度)	第5年次(7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年合計	第7年次(9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	\mathbf{T}	活動指						103		103	3	103	103	103			
	指標	(単位	大根			1		117 35	35	35		25	25	35	5 35		
	775	成果指		}	35 35 35 35)	39		30		35	35	30	30		
)達成度 指標をもとに評価)			達成されている										
		事業の (成果))成果 指標をもとに評価)			変わらない										
)効率性 費に対する成果)				変わらない										
		総合評					普通である										
	事务事業平面		総合評価の判理 理由または指 の実績値に関 る自己分析	にの作る」当で、 高落態、 高落態、 高落態、 高落態、 同業・機、 現休図 ・ 東がか共事業・機、 理休図 ・ 理休図 ・ で の で と 地 で と 地 で と 地 で と 地 で と 地 で と 地 で と 地 う と も り 。 は う と り 、 り う 、 り う 、 り う 。 う う う う う う う う う う う う う う う う う	東に低らなられた当で多種雄に保い、 は、低いな大きな、 は、低いな大きな、 は、低いな大きな、 は、低いな大き、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	化りがか大井 高齢機能の 高齢機能を 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大力	はであ全のに大活て行め、、多る対総い、動もの場変はい動物のののといい、動ものでたいがない、動り、できるが終い、動やできるといいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいで	り集落機能の低る状態を集務機能の低る大事業の表演を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の					現状のまま継続										
				R5: 農材の温疎ルン	5喜齢化の准行に伴	う集落機能の低下	が蘇今されてか	R8 :				R10 :				11	
	改善	性の判題 、改革 G i、R8、R	の内容	り、農地・農業 草刈りや泥上に の管理や農村野	高齢化の進行に伴 実用水路等の資源に が、農道の砂利補充 環境の向上を図る共 れることから、継続	ついて活動組織ななど、農地・水路 同活動を支援する	なが行う水路の 発等の資源の日常 ことで適切な保										

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	環境保全型農	ł 業直接支払 交	付金事業		事業期間	平成	23年度 ~ -	- 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-5	他に関連する 基本事業	2-3-1					所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	自然環境の保全しる支援を行うこと	こ資する農業の生 とで、農業の持続	産方式を導入した. 的発展と農業の有	農業生産活動の する多面的機能	- 実施を推進する事業 の発揮を促進する。	美を実施する農	業者団体等に対す	手段 (どのような方法で 実現するのか)	取組農地面積に帰	芯じ、取り組みに	係る経費の一部を	交付金として交付	ける。	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	有機農業や化学服	肥料・化学合成農	薬を半減させる取	り組み等を実施	する農業者団体			成果 (どのような効果が 得られるのか)	が図られる。		発揮させることに 業者の負担軽減が		る農地、水、環境	竟の良好な保全と質的向上の促進
事業開始時の状況 緯	・これまでの経													

[DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額	2, 998, 000	2, 998, 000	2, 998, 000	8, 994, 000	3, 188, 000	-,,	3, 188, 000	9, 564, 000	3, 188, 000	3, 188, 000	3, 188, 000	3, 188, 000	12, 752, 000	31, 310, 000
			予算計上額	2, 999, 000	2, 680, 000	2, 955, 000	8, 634, 000	3, 188, 000	-,,		6, 366, 000					0	15, 000, 000
			実績額	2, 299, 950	2, 548, 350	2, 760, 750	7, 609, 050	2, 887, 650			2, 887, 650					0	10, 496, 700
	地	方 債					0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額				0				0					0	0
≥			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
れ	- 1	段 財源	計画額	1, 001, 000	1, 001, 000	1, 001, 000	3, 003, 000	1, 064, 000	., ,	1, 064, 000	3, 192, 000	1, 064, 000	1, 064, 000	1, 064, 000	1, 064, 000	4, 256, 000	10, 451, 000
+.			予算計上額	1, 000, 000	894, 000		2, 880, 000	1, 064, 000	.,,		2, 124, 000					0	5, 004, 000
た			実績額	766, 650	849, 450	920, 250	2, 536, 350	962, 550			962, 550					0	3, 498, 900
事	事業	養合計	計画額	3, 999, 000	3, 999, 000	3, 999, 000	11, 997, 000	4, 252, 000	4, 252, 000	4, 252, 000	12, 756, 000	4, 252, 000	4, 252, 000	4, 252, 000	4, 252, 000	17, 008, 000	41, 761, 000
			予算計上額	3, 999, 000	3, 574, 000	3, 941, 000	11, 514, 000	4, 252, 000	4, 238, 000	0	8, 490, 000	0	0	0	0	0	20, 004, 000
業			実績額	3, 066, 600	3, 397, 800	3, 681, 000	10, 145, 400	3, 850, 200	0	0	3, 850, 200	0	0	0	0	0	13, 995, 600
費の#	事業	費予算の 内容		交付金 3,999千円	交付金 3,574千円	交付金 3,941千円		交付金 4,252千円	交付金 4,238千円								
移	0	度予算と の比較 減理由)		対象農地の増	対象農地の減	対象農地の増		対象農地の増	対象農地の減								
	実績(増	との比較 減理由)		対象農地の減	対象農地の減	対象農地の減		対象農地の減									

指	標の推	移・評価															
活	動指標	1 (「手段」	をもとに設定)	指標名:事業取締	組農家数比率		指標の求め方:	事業取組農家数/	令和3年度事業取	組農家数(13名)>	< 100						
成:	果指標	1 (「成果」	をもとに設定)	指標名:当該年月	度交付対象面積率		指標の求め方:3	を付対象面積/2	020農業センサ	ス販売農家経営配	5積(1,088ha)×	< 100					
						3 カ年計画				3 カ年計画				3次実施4カ年計			第 7 期
				第1年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次(9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		活動指標	1 計画値	(3年度)		(5年度)		100	100	100	н	(9年度)	100年度)	100	(12年度)	П П	
	指	(単位/%	6) 実績値	100	108	108	3	108									
	標	成果指標(単位/%		6	6	6		6	6	6		6	6	6	6		
		事業の達	成度	0	5	0	達成されている	0									
		事業の成					変わらない										
		事業の効	票をもとに評価) 窓性													 	
		(事業費に	対する成果)				変わらない										
		総合評価		自己分析:	自己分析:	自己分析:	普通である 判断理由:	白コム长、	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
事務專業語価	評価内容	Į.	総合評価の判断 理由または指標 の実績値に関す る自己分析	地や全いり援農環の大学で、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大	地や全いり援農るをる当該では保護のでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、のでは、ので	地や全いり援農るをる当地や全いり援農るをる当地な生物に患むす発療を対策を対策をとの全種でよるが東にいる。これは、大きのの金様のでは、大きの金様のでは、大きの金様のでは、大きの金様のでは、大きの金様のでは、大きの金様のでは、大きの金様のでは、大きの金様のでは、大きの金様のでは、大きの金様のでは、大きの金様のできない。	交計のは、はし取加地や全いり援いと、はし取加地や全いり援い。というで、組織のになり、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	や全いり援農るでる当該をないます。という接触なののと様でによいます。というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	1677 (I	日 ら刀和 .	刊劇學由:		ロ C 刀 切 I .	日 C 刀 切 .		刊劇楼田	
		今後の方	向性				現状のまま継続										
	改善	性の判断理 、改革の内 、R8、R10)	型由 日容	にあり、地球温暖	計画値を達成して 暖化防止や生物多 の支援として効果	様性保全等に効果	の高い営農活動	R8 :			1	R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	公的分収林整	備推進事業			事業期間	平成	5年度 ~ -	- 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-6	他に関連する 基本事業	2-3-1	2-6-3				所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	砂川市森林整備3源のかん養や多面	事業計画に基づき、 面的機能の発揮なる	、計画的に分収林勢 どを主体とした公益	契約を締結し、ホ 盆的機能の維持Ⅰ	- 値栽、下刈、除間伐 こつなげる。	き等の整備を図]り、森林の持つ水	手段 (どのような方法で 実現するのか)	森林所有者と公的する。	的分収造林委託契	約を締結のうえ、	森林整備(植栽、	下刈、除間伐等)	を国及び道の補助を受けて実施
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内の公的分収途	造林契約を締結し 7	た森林及びその所有	有者				成果 (どのような効果が 得られるのか)						
事業開始時の状況緯	・これまでの経	経済的に森林整備 植栽は平成5~1	構が困難な森林所有 2年度(平成8年度	者と市が分収材 は除く)、下刈	林契約(契約期間50 川は平成6~16年度	年)を締結する、除間伐は平り	ることで、所有者に 成16年度以降適期に	代わって森林整備 実施している。	を進め、将来的に	こその材に対する	収益を一定の比率	(市:6、所有者	f:4)で分ける。	

[DO]

実績

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年記	十画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国 費					0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	道 費	計画額				0		1, 107, 000	1, 107, 000	2, 214, 000	1, 107, 000	1, 461, 000			2, 568, 000	4, 782, 000
		予算計上額				0		0		0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	地 方 債					0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
入	その他	計画額				0		641, 000	641, 000	1, 282, 000	641, 000	846, 000			1, 487, 000	2, 769, 000
さ		予算計上額				0		0		0					0	0
		実績額				0				0					0	0
れ	一般財源					0				0					0	0
た		予算計上額				0				0					0	0
/_		実績額				0				0					0	0
事	事業費合計		0	0	0	0	0	1, 748, 000	1, 748, 000	3, 496, 000	1, 748, 000	2, 307, 000	0	0	4, 055, 000	7, 551, 000
		予算計上額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業		実 績 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費の推	事業費予算の 内容							間伐等を行う適 期でははなく、事 和7年度はある 未実施のため 算計上なし								
移	前年度予算と の比較 (増減理由)		事業実施予定面 積の減	前年度と同額	前年度と同額											
	実績との比較 (増減理由)															

指标	服の推	多・評価															
		1 (「手段」をも		指標名:除間伐抗				令和3年度以降間									
成身	具指標	1 (「成果」をも	とに設定)	指標名:			指標の求め方:月	成果指標の設定が									
				第1年次	第1次実施	第3年計画 第3年次	the o to	第4年次	第2次実施第5年次	施3カ年計画	That o b to	第7年次	第8年次	第3次実施4力年記	第10年次	T	第 7 期総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	実施3カ年 合 計	(6年度)	(7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次(9年度)	(10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 カ年 合 計	合計
		活動指標 1	計画値				-	_	·		-	-				-	
	指標	(単位/%)	実績値		<u>, c</u>) 0)	4	_	_			_	_	 		
	175	成果指標 1 (単位/)	計画値実績値					A				-		-	-		
		事業の達成度	Ę														
		(活動指標を 事業の成果	もとに評価)					-			4		4			4	_
		(成果指標を	もとに評価)														
		事業の効率性								4							
		総合評価	7 01227				普通である				1						
				自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
						間伐等を行う適 期ではないた	植林の生育状況 により間伐適期										
				め、事業未実 施。	め、事業未実 施。	め、事業未実 施。	が変わることも あり、平成30年	め、事業未実 ^施									
				ne o	ne o		度は実施されな	ne o									
							かったが、継続して定期的な間										
事							伐等を行い適切 な森林整備が進										
	評価						められているこ										
務							とから普通と判 断した。										
	容		評価の判断 または指標														
事		の実	績値に関す														
		ර	己分析														
業																	
=7																	
評																	
価																	
Щ																	
		今後の方向性	<u> </u>				現状のまま継続										
				R5 :				R8 :				R10 :					<u> </u>
				当該事業により	定期的な森林整備 面的機能の発揮な	fiが進められており ∶どを主体とした公	」、森林の持つ水 ・										
						と と 接続する 事業と考え											
	方向	性の判断理由															
	改善 (R5	、改革の内容 、R8、R10)															

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 O

事 業 名	豊かな森づく	り推進事業			事業期間	平成23	路年度 ~	令和12年度]	•				
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-6	他に関連する 基本事業	2-3-1	2-6-3				所管課係	農政課農政係
	伐採後の確実な植 循環利用と造林事			ることにより、ネ	・ な な な な は も も も も も も も も も も も も も も も	減を図るととも	もに、森林資源	じどのような方法で	道⇒100分の16、	(100分の68)に対 市⇒100分の10 者の負担は、事業費			する。	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	森林経営計画を立	なてた者で、造林	(植林)を行おう	とする森林所有	š			成果 (どのような効果が 得られるのか)	森林の有する多面	面的機能の確保が国	図られるとともに	、森林経営・管理	里における森林所:	有者の負担軽減が図られる。
事業開始時の状況 緯					進事業」が10年目 事業が創設された		 2年度で終了とた	 より、平成23年度より	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	づくり推進事業が創	一般。この事業が	 令和2年度で終了	となり、令和3年原	度より地球温暖化防止や森林・林業

[DO]

実績

						第1次実施	3 力年計画			第2次実施	第2次実施3カ年計画						第3次実施4カ年計画			
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画		
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計		
	国	費	ŧ i	計画額				0				0					0	0		
				予算計上額				0				0					0	0		
				実績額				0				0					0	0		
	道	費	ŧ	計画額	1, 843, 000	1, 843, 000	1, 843, 000	5, 529, 000	1, 103, 000	1, 103, 000	1, 103, 000	3, 309, 000	1, 103, 000	1, 103, 000	1, 103, 000	1, 103, 000	4, 412, 000	13, 250, 000		
				予算計上額	1, 843, 000	1, 478, 000	1, 643, 000	4, 964, 000	1, 103, 000	0		1, 103, 000					0	6, 067, 000		
				実績額	1, 434, 891	1, 166, 011	1, 285, 383	3, 886, 285	863, 530			863, 530					0	4, 749, 815		
	地	方 债	責	計画額				0				0					0	0		
投				予算計上額				0				0					0	0		
				実績額				0				0					0	0		
入	そ	の他	也	計画額				0				0					0	0		
≥				予算計上額				0				0					0	0		
٠				実績額				0				0					0	0		
れ	- 1	般 財 源	原	計画額	1, 152, 000	1, 152, 000	1, 152, 000	3, 456, 000	690, 000	690, 000	690, 000	2, 070, 000	690, 000	690, 000	690, 000	690, 000	2, 760, 000	8, 286, 000		
,				予算計上額	1, 152, 000	924, 000	1, 028, 000	3, 104, 000	690, 000	0		690, 000					0	3, 794, 000		
<i>t</i> =				実績額	896, 817	728, 772	805, 773	2, 431, 362	542, 151			542, 151					0	2, 973, 513		
事	事業	美費 合計	†	計画額	2, 995, 000	2, 995, 000	2, 995, 000	8, 985, 000	1, 793, 000	1, 793, 000	1, 793, 000	5, 379, 000	1, 793, 000	1, 793, 000	1, 793, 000	1, 793, 000	7, 172, 000	21, 536, 000		
•				予算計上額	2, 995, 000	2, 402, 000	2, 671, 000	8, 068, 000	1, 793, 000	0	0	1, 793, 000	0	0	0	0	0	9, 861, 000		
業			-	実績額	2, 331, 708	1, 894, 783	2, 091, 156	6, 317, 647		0	0	1, 405, 681	0	0	0	0	0	7, 723, 328		
費					補助金 2,995千円	補助金 2,402千円	補助金 2,671千円		補助金 1,793千円											
貝	- *	費予算の																		
の		内容																		
.,,																				
推			4		\#_11_ =+	M-11-1-1-1-7	\# 11 		\# 11 = + 1 = 1 = 7	*****										
移					造林申請による 事業量の減		道杯甲請による 事業量の増		道杯甲請による 事業量の減	造林申請予定な L										
,,,		度予算と	=		尹 未里の派	尹未里 0 成	サ木里の塩		尹未里 57 成	C										
		の比較 減理由)																		
	(-8	// Д-Ш/																		
					事業量の減少に	事業量の減少に	事業量の減少に		事業量の減少に											
	4+					よる減額	よる減額		よる減額											
		との比較減理由)	交																	
	(**	#≫ - ± □ /																		

ŧ	首標の	推移	・評価																
ž	舌動指	標 1	(「手段」を	とに設定)	指標名:補助金額	額比率		指標の求め方: 当	当該年度補助金額	[/令和3年度補助	金額(2,331千円)	※令和3年度は	は令和元年度補助金	金額(4,722千円)と	比較				
J.	 人果指	標 1	(「成果」を	とに設定)	指標名:施業面積	漬(造林)比率		指標の求め方:当	4該年度施業面積	[/令和3年度施業	面積(11.06ha)	※令和3年度は	は令和元年度施業配	面積(21.54ha)と	比較				
							13 力年計画				3 力年計画		第3次実施4力年計画 第						
					第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計	
			活動指標 1	計画値	63				90		90	/	90	90	90	90			
		指標	(単位/%)	実績値 計画値	49 59				60 100		100		100	100	100	100			
		,	成果指標 1 (単位/%)	実績値	50			4	51		100		100	100	100	100			
			事業の達成 (活動指標を	 ま ・もとに評価)				あまり達成されていない											
			事業の成果 (成果指標を	もとに評価)				あまり上がってい ない											
			事業の効率					変わらない											
		1	総合評価					普通である											
	務	評価内容	総1 理 の3	合評価の判断標 まま値に関す 自己分析	多面的機能を保 全す要助機能をに 重要補助の 事補本 事有者を 負担軽減にもな	林)面がまた、は、機たあ事所に、、機たあ事所に、に、機たあ事所に、に、で、は、に、ない、に、で、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	林)ない。森林をに、は機ためり業有をに、機ためり業有をで助林をに、に者を対したの事がでいた。は、にない、に者ものは、にない。というには、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	指て採林と者もがるこれ代植こ有に無い後をでのり進とをでのり進とと者もがにこれて普遍ない。	林) が あいるで は が のるで ののるで ののようで ののは ののは ののは ののは ののは ののは ののは のの		自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:		
		Ī	 今後の方向'	<u></u>				現状のまま継続											
					R5: 森林姿質の後環	利用を促進し本井	の名面的機能の原		R8 :		<u> </u>	Ш	R10 :				<u>d</u>		
					後の確実な植林? 該事業により、?	を支援するには所:	の多面的機能の保 有者の負担が大き 軽減が図られ造林 る事業と考える。	いことから、当											
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)																		

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	森林経営管理	事業			事業期間	令和	元年度 ~ -	- 年度					•	<u> </u>	
事業性質区分	新規・継続	新規(掲載)	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	4-1-6	他に関連する 基本事業	2-3-1	2-6-3				所管課係	農政課農政係	
(何のために実施する	ことにより、私有	林の適正な経営	管理の確保を推進	する。	リ森林所有者と意欲 リ森林の多面的機能		森林経営体を繋ぐ	(どのような方法で	経営計画未策定の私有林(人工林)の内、施業経歴の無い森林について森林の状況を把握し、森林所有者への意向調査を実施する。 調査の結果、自ら森林の管理ができない森林所有者については、意欲と能力のある森林経営体に経営管理を委託する。 また、森林経営に適さない森林については、森林環境譲与税を財源とし市が森林の管理を行う。						
対象 (誰・何を対象として いるのか)	適正な経営管理が	「行われていない	私有林及びその森	林所有者				成果 (どのような効果が 得られるのか)	森林の有する多面的機能を確保するとともに、森林資源の適正な管理が図られる。						
事業開始時の状況・これまでの経 緯 令和元年度及び令和2年度に森林所有者に対して、森林の経営管理に対する意向調査アンケートを実施し、令和3年度から所有者不明森林の所有者調査を開始。また、令和3年度から森林環境譲与税を使用して森林												森林の路網整備を実施。			

[DO]

実績

				第1次実施3カ年計画					第2次実施	3 力年計画		第3次実施4カ年計画					第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地	方 債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額	3, 726, 000	3, 946, 000	3, 352, 000	11, 024, 000	7, 115, 000	7, 115, 000	7, 115, 000	21, 345, 000	7, 115, 000	7, 115, 000	7, 115, 000	7, 115, 000	28, 460, 000	60, 829, 000
≥			予算計上額	3, 650, 000	3, 716, 000	7, 112, 000	14, 478, 000	7, 115, 000	2, 096, 000		9, 211, 000					0	23, 689, 000
			実績額	3, 469, 956	4, 267, 484	6, 789, 727	14, 527, 167	6, 791, 840			6, 791, 840					0	21, 319, 007
れ	-	般 財源					0				0					0	0
4			予算計上額				0				0					0	0
<i>t</i> =			実績額				0				0					0	0
事	事業	業費 合計		3, 726, 000	3, 946, 000	3, 352, 000	11, 024, 000		7, 115, 000	7, 115, 000	21, 345, 000	7, 115, 000	7, 115, 000	7, 115, 000	7, 115, 000	28, 460, 000	60, 829, 000
			予算計上額	3, 650, 000	3, 716, 000	7, 112, 000	14, 478, 000	7, 115, 000	2, 096, 000	0	9, 211, 000	0	0	0	0	0	23, 689, 000
業			実績額	3, 469, 956	4, 267, 484	6, 789, 727	14, 527, 167	6, 791, 840	0	0	6, 791, 840	0	0	0	0	0	21, 319, 007
費の推	事業	養予算の 内容		役務費 31千円	需用費 55千円 役務費 31千円 工事費 3,630千円	需用費 57千円 役務費 41千円 使用料 14千円 工事費 7,000千円		需用費 57千円 役務費 41千円 使用料 17千円 工事費 7,000千円	需用費 80千円 役務費 18千円 使用料 18千円 工事費 1,980千円								
移	(□度予算と の比較 曽減理由)		工事費の増	工事費の増	工事費の増		ほぼ同額	工事費の減								
	実績(増	も を を を を を も は で も で も で も で も で も り も り も り も り も り も		工事費の減	工事費の増	工事費の減		工事費の減									

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:路網整備延長(m)	指標の求め方:当該年度の路網整備延長(m)
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名:路網整備延長累計(m)	指標の求め方:路網整備延長累計(m)

					第 1 次実施	3カ年計画			第2次実施3力年計画 第3次実施4力年計画							第 7 期					
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画合計				
		活動指標 1	計画値	(3年度)	(4年度)	(5年度) 800	合 計	(6年度)	(7年度) 1,000	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	н п				
	指	活動指標(単位/m)		320	320			100	1,000	1,000				 	-						
	標	成果指標 1		160	200	1, 000		2, 000	3, 000	4, 000											
		(単位/m)	八根に	320	640	840		940													
			をもとに評価)				達成されている														
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)						上がっている														
		事業の効率	5性 対する成果)				上がっている														
		総合評価					良好である														
事務事業評価	評価内容	理の		森林を適正に管 理するために路 網整備等環境整 備を行う必要が	理するために路 網整備等環境整 備を行う必要が		理するために路 網整備等環境整	森林を適正に管 理するために路 網整備等環境整 備を行う必要が	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:					
		今後の方向	1性				現状のまま継続														
		フレの方円) II	R5 :			シングクの作列	R8 :				R10 :									
						とは、森林を適正	に管理するため	ino .				in (V .									